

官報

號外

明治三十八年二月十五日

水曜日

印刷局

○第二十二回 帝國議會 衆議院議事速記録第十六號

明治三十八年二月十四日(火曜日)午後一時二十三分開議

讀事日程 第十五號 明治三十八年二月十四日

午後一時開議

- 第一 明治三十五年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)
- 第二 明治三十五年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)
- 第三 明治三十五年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)
- 第四 明治三十五年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)
- 第五 明治三十五年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)
- 第六 明治三十六年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)
- 第七 明治三十六年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)
- 第八 明治三十六年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)
- 第九 明治三十六年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)
- 第十 明治三十六年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)
- 第十一 裁判所構成法中改正法律案(元田繁外二名提出) 第一讀會 (續委員長報告)
- 第十二 民事訴訟法中改正法律案(國井庫一提出) 第一讀會
- 第十三 國籍法中改正法律案(神崎東藏外一名提出) 第一讀會
- 第十四 登錄稅法中改正法律案(橫井時雄外二名提出) 第一讀會
- 第十五 家祿賞典祿處分法中改正法律案(荻野芳藏外十三名提出) 第一讀會
- 第十六 府縣制中改正法律案(植場平外一名提出) 第一讀會
- 第十七 府縣制中改正法律案(小河源一提出) 第一讀會
- 第十八 衆議院議員選舉法中改正法律案(橫井甚四郎外三名提出) 第一讀會

- 第十九 郡市町村會議議員ノ選舉ニ關スル法律案(橫田虎彦外一名提出) 第一讀會
- 第二十 渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案(武藤金吉外四名提出) 第一讀會
- 第二十一 屠場法案(川島龍藏外一名提出) 第一讀會
- 第二十二 獸畜市場法案(川島龍藏外一名提出) 第一讀會
- 第二十三 傳染病豫防法中改正法律案(山根正次外七名提出) 第一讀會
- 第二十四 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(寺井純司外三名提出) 第一讀會
- 第二十五 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(澤田寧一提出) 第一讀會
- 第二十六 市街宅地地價修正ニ關スル建議案(根本正外十名提出) 第一讀會

○議長(松田正久君) 開會致シマス、諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

國稅徵收法中改正法律案

在外指定學校職員退職料及遺族扶助料法案

明治二十九年法律第六十三號ノ有効期間ニ關スル法律案

貴族院ヨリ左ノ議案ヲ提出案ヲ送付セラレタリ

外國ニ於ケル銀行事業ニ關スル法律案

日本勸業銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案

貴族院ハ本院送付ニ係ル政府提出案明治三十五年法律第二十九號中改正法律案、巡査看守退職料及遺族扶助料法中改正法律案ヲ可決セル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セラレタリ

馬匹改良ニ關スル建議案

提出者 小田 文行君

提出者 江原 素六君

提出者 駒林 廣運君

提出者 奧田 義人君

提出者 明治三十年法律第十三號中改正法律案

委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

委員長 古賀 庸藏君

委員 清韓醫事衛生ニ關スル建議案

委員 山田 省三郎君

理事 市田 兵七君

理事 乾 奈良吉君

理事 乾 奈良吉君

官報號外

明治三十八年二月十五日(三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第十六號 議長ノ報告

畜牛結核病豫防法中改正法律案

委員長 奥野市次郎君

水産銀行設立ニ關スル建議案

委員長 濱名信平君

外交文書報告ニ關スル建議案

委員長 島山敬二郎君

井上甚太郎君ヨリ米作ノ改善増收ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

米作ノ改善増收ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十八年二月十四日

提出者 井上甚太郎

賛成者 藤

金作 外四十九名

米作ノ改善増收ニ關スル質問主意書

第二十議會ニ於テ米作ノ改善増收ヲ圖ルカ爲メニ主務省ハ省令ヲ發シテ鹽水澆、共同苗代ヲ勵行スルト同時ニ共同苗代ハ共同ノ費用ニテ害蟲ヲ驅除セシメ以テ其目的ヲ達ス可キ旨全會一致ヲ以テ建議セリ然ルニ該省令未タ其省令ヲ發セサルハ該建議ヲ採用スルニ意ナキ乎

右答辯ヲ望ム

○議長(松田正久君) 諸君ニ御諮リヲ致シマスルガ、議員中澤楠彌太君ヨリ病氣ノタメ、本月十一日ヨリ十八日間、請假ノ申出ガアリマシタ、許シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス

○江原素六君(百八十九番) 議長

○議長(松田正久君) 江原素六君

(江原素六君登壇)

○江原素六君(百八十九番) 諸君、本員ハ開會ニ先ツテ、諸君ニ御同意ヲ請ハントスルコトガゴザイマス、ソレハ第一師團長陸軍中將 松村務本君ハ、戊辰ノ年 王師ニ從ハレテ、負傷セラレテヨリ、十年ノ役肥後ノ木留ノ戰ニモ、勇敢ナル勳ヲシテ負傷セラレ、又二十七年ニハ、第六師團ノ參謀長トシテ、非常ニ力ヲ盡サレ、二十年ニハ臺灣ノ守備隊ニ從事セラレマシタ、是亦諸君ノ御存ジノ通ノ功ヲ奏サレマシタ、而シテ今回ノ戰ニ於キマシテハ、松樹山ニ二百三高地ノ戰ニ付イテ、最も勇敢ナル勳ヲサレタ御方デアリマス、然ルニ遼陽ニ於テ二月四日病没サレタコトデ、御同様ニ悲ムノデゴザイマス、就キマシテハ院議ヲ以テ、同將軍ノ弔辭ヲ決議シタイノデゴザイマス、諸君ノ御同意ヲ願ヒタイノデゴザイマス、(賛成々々ト呼フ者アリ、拍手起ル)、然ラバ弔辭ノ文ヲ朗讀致シマス、(謹聽々々ト呼フ者アリ)

衆議院ハ戰功顯著ナル陸軍中將從三位勳一等功三級松村務本君ノ薨去ヲ追悼シ茲ニ弔意ヲ表ス

(拍手起ル)

○議長(松田正久君) 江原素六君ノ提案ニ付イテ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、江原君ノ提案ヲ採用スルコトニ決シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 第一ヨリ第十マデハ、同一ノ委員ニ付託サレタモノデゴザイマス、此場合一括シテ報告アラフコトヲ希望シマス

○議長(松田正久君) 是ヨリ議事日程ニ付イテ會議ヲ開キマス、議事日程第一ヨリ第十ニ至ルマデ同一委員ニ付託サレタモノデアリマス、委員長ヨリ同時ニ報告ヲサレシコトヲ望ミマス——肥塚龍君

第一 明治三十五年年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)

第二 明治三十五年年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)

第三 明治三十五年年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)

第四 明治三十五年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)

第五 明治三十五年年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)

第六 明治三十六年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)

第七 明治三十六年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)

第八 明治三十六年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)

第九 明治三十六年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)

第十 明治三十六年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出) (委員長報告)

(肥塚龍君登壇)

○肥塚龍君(三百二十四番) ソレハ明治三十五年年度豫備金支出外九件ノ委員會ノ經過及結果ヲ、簡略ニ御報告ヲ致シマス、先ツ明治三十五年度ノ方カラシテ、報告ヲ致シマスルガ、此三十五年度ノ豫備金支出ニ就キマシテハ、隨分議論モゴザイマシタ、委員會ニ於テハ三十五年度ノ豫備金支出ヲ、明治三十八年度ノ豫算ヲ議スル、其議會ニ向ツテ、報告ヲスルハ、實ニ怠慢至極ノ至リデアアル、明治三十五年度ノ豫備金支出ハ、疾ニ當議會ニ向ツテ承諾ヲ求メナケレバナラヌモノヲバ、今日マデ怠慢ニ附シテ置イテ、決算ト豫備金支出ト、同時ニ議會ニ出ストハ、如何ナルコトデアアル、又會計法ニ於テモ、年度經過後ノ議會ニ報告スルコト云フコトガ、歴々ト書イデアアル、又憲法ニ於テモ、第三十四條ノ第二項ニ於テ、後日ノ議會ニ報告シロト云フコトガ——承諾ヲ取レト云フコトガ書イデアアル、斯様ニ法文ニ於テモ、憲法ニ於テモ、歴々ト書イデアアルモノヲバ、今日マデ等閑ニシテ置イテ、第二十一議會ニ報告セラル、ノハ、如何ナル次第デアアルカト云フコトノ質問ガ、起リマシテゴザイマス、ソコデ政府委員ハ之ニ答辯ヲ致シタ、其大要

ヲ申シテ見マスレバ、第一ニハ成程後レタニハ相違ハナイ後レタニハ相違ハナイケレドモ、第十九議會ト云フモノハ、御承知ノ通ニ、議會ガ頓死シテマダ、ソコデ出ス機會ガナカッタ、ソレハソレニ違ヒナイ然ラバ、第二十議會ニハナセ出サナシカト申シマス、政府ノ答辯ニ於テハ、二十議會ニハ計算書モ何モカモ出來テ居ッタ、出來テ居ッタケレドモ、二十議會ハ軍國議會デアル、軍國議會デアルガ故ニ、成ベク此長引クヤウナモノ、竝ニ軍國——軍ニ關係ナイヤウナモノナドハ提出シナイヤウニト云フコトカラ出サナカッタ、モウツニハ、短期議會ニ於テ手數ノ掛ルトコロノ承諾案ナドヲ出スト云フコトハ、他ノ一院ニ於テモ、此前彼此レ苦情ガアツタコトデアル故ニ、第二十議會ニ出サシテ、第二十議會ニ三十五年度ノ豫備金支出、竝ニ剩餘金支出、是ノ承諾案ヲ提出シタノデアアルト云フノガ、是ガ政府委員竝ニ大藏大臣ノ答辯ノ要領デゴザイマス、デ委員會ハ此問題ハ隨分重大ナコトデアルガ故ニ、又政府委員限デハ答辯ノシ兼ネル場合ガアル故ニ、大藏大臣ニ出席ヲ求メタ、所デ大藏大臣モ出席セラレタ、ソコデ委員ト大臣竝ニ政府委員トノ問答ノ上、委員ニ於テハ政府ニ答辯ハアル、答辯ハアルガ、其答辯ハ至極御尤ナリト云フコトハ、ドウシテモ出來ナイ、議會ガ短期デアルガ故ニ、出サナシカト云フコトハ、短期ノ間ニ十分ニ調査ガ出來ルト出來ヌハ、是ハ二十議會ノ權能デアル話デアデ、ソレ程當局者、即チ政府ニ於テ、彼此レ云フベキ事柄デハナイノデアアル、又此豫備金支出ト云フモノヲバ、二年モ四年モ經テ出サレシマツデハ、サウナクテモ、豫備金ノ承諾案ナドト云フモノハ、時效經過後ノ借用證文見タヤウナ話ニナツデ、後トカラドウスルコトモシヤウガナイト云フ程ノ事デアルノニ、然ルニ之ヲバ三十五年ニ支出シタモノヲバ、當議會ニ出スト云フコトハ、益々豫備金支出ノ亂雜ヲ來ス端緒デアル、又憲法ニ於テモ法律ニ於テモ、既ニ會計法ニ於テハ、年度經過後ノ議會デ承諾ヲ求メルト云フコトモ、書イテアレバ、憲法ニ於テモ、後日議會ノ承諾ヲ求メルト云フコトガ、書イテアル以上ハ、短期デアルガ故ニ、或ハ軍國議會デアツタガ故ニ、出サナシカト云フ理由ハ、ドウシテモ至當ナル申分トハ、能ク認メナイ、斯様ナ委員會ノ意見デアリマシテ、ソレデ委員會ハ一旦ハ之ヲ不當ナリト認ムル決議ヲバ、將ニ爲サントスル有様デアツタノデアアル、有様デアツタケレドモ、強テ委員會ハ、政府ニ對シテ圓ク治マルベキモノナラバ、戰端ヲ啓ク必要ハナイト考ヘ、ソレヨリシテ大藏大臣ト種々交渉ノ末、大藏大臣ニ於テハ、以來ハ此豫備金支出ノ件ハ、支出後一番先ハ出シ得ベキ議會ノ到著シタ、其議會ハ、必ズ提出ヲ致ス、今後ハ斯様ナコトハ、決シテセナイト云フコトヲ、大藏大臣ガ極ク淡泊ニ明言セラレタ、證言セラレタノデアアル、ソレガタメニ、一旦不當決議ヲ爲サントシタル委員會モ、大藏大臣ノ答辯ニ満足ヲ致シテ、全會一致デ、然ラバ此三十五年度豫備金支出竝ニ剩餘金支出ノ事ハ、是ハ全會一致ヲ以テ、承諾ヲ與フルト云フコトニナツタ、三十五年度ノ方ハ、特別會計モ一般會計モ、共ニ承諾ヲ與フルコトニナリ、且又同年度ノ清國事件費ノ方モ、全會一致ヲ以テ、承諾ヲ與フルコトニナリマシタノデゴザイマス、是ハ即チ三十五年度豫備金支出竝ニ三十五年度ノ剩餘金支出、清國事件費ニ關スルトコロノ結果デゴザイマス、ソレカラ次ハ三十五年度デゴザイマス、三十五年度ハ提出ノ時期ノ問題ハナイノデアアル、問題ハゴザイマセナシカ、文部省ノ豫備金支出ノ部ニ於テ、教科書編纂ニ、一萬四千何百圓ト云フ支出ガゴザイマス、ソレカラ内務ノ部ニ於テ、基隆ノ築港維持費ト云フ名ノ下ニ、二十三萬何千圓ト云フ支出ガゴザイマス、此二ツガ委員會ノ問題ニナリマシタノデアアル、第一ニ文部省ノ教科書編纂費デゴザイマス、此文部省教科書編纂費ハ、御承知ノ通、第十八議會ニ於テ、當議會ガ否決シタ事柄デアル、當議會ニ於テ否決シタモノヲバ、豫備金支出スルト云フコトハ、如何ナルコトデアルカト云フノガ、一ツノ

問題ニナリマシタ、ソレカラ基隆築港費モ、第十八議會デハ確カニ十萬圓ノ要求、ソレモ第十八議會ニ於テ、否決ヲシタノデアアル、否決ヲシタノデアアルガ、是モ豫備金カラ支出シテアルト、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、全ク當院ノ決議ト云フモノハ、此二ツノ費目ニ於テ、既ニ議決セラレシマツタト云フ結果ニナツテ居ル、ソコデ文部大臣モ出席セラレ、或ハ政府委員ハ勿論ノ話、種々答辯ヲバセラレタデゴザイマス、其答辯ノ要領ハ、斯様ナ事デアル、文部省ノ教科書編纂ノコトハ、成程當院議決ニ於テハ、追加豫算ハ否決ニナリマシタ、否決ニナツタケレドモ、當時三十七年度ノ教科書ト云フモノハ、彼ノ收購事件ノタメニ、教育界ガ大混亂ヲ起シテ、教科書缺乏ト云フコトノ、不時ノ出來事ヲ生シテ來タ、ソコデ如何ナル手段ヲ取ツデモ、此教科書ヲ一時タリトモ、缺乏セシムルト云フヤウナコトガアツタハナラナイ、ソコデ此缺乏ヲ補フデケニ、文部省ノ義務トシテ、ソレデケノ處辦ヲシナケレバナラヌト云フコトデハ是デケノ處辦ヲシ且又モウツニハ、他ノ一院、即チ貴族院ニ於テハ、隨分議論モ多カッタ、隨分議論モ多カッタガ、當時ノ文部大臣ガ、相當ノ處分ヲスル覺悟デアルト云フコトヲ言ハレタノデ、貴族院モ是ヲバ衆議院ノ決議ニ同意セラレタト云フコトデアルガ故ニ、當時ノ文部大臣ハ、豫備金ノ支出ヲ請求シテ、遂ニ此處分ニナツタノデアアルト云フノガ、是ガ文部省ノ側ノ答辯デゴザイマス、答辯デゴザイマシタガ、吾モ委員ニ於キマシテハ、免モ角モ此教科書編纂費ト云フモノ、費用ヲバ、當院ハ削減シマツタノデアアル、費用ヲ削減シタノハ、即チ國定教科書編纂ト云フモノハシナイト云フコトノ意味デ、是ハ削減、即チ戰爭ニ出ルノニ、其兵器彈藥ヲ削減シマツタ、戰爭ハスナト云フ意味ハ、一目瞭然タルガ故ニ、當院ニ於テハ、教科書編纂ノ費用ハ、一文モ出スベカラズト云フ意味デアル、然ルニ是ヲ豫備費カラ支出セラレタト云フコトハ、當議會衆議院ノ決議ヲバ、破ラレタモノデアアルト云フノガ、是ニ反對スル、即チ是ハ不當支出ト認メタコロノ理由ノ大體デアル、ソレカラ基隆築港費ノ方ニ至リマス、ト云フト、當局者ノ答辯ヲ致サレルノニハ、成程基隆築港費ハ、當時ハ確カニ十萬圓——一箇年ノ支出六十萬圓ト云フモノヲバ、要求ヲ致シタ所ガ、ソレハ否決ニナツタ、否決ニナツタケレドモ、ソレニ件フトコロノ浚渫船、即チ泥浚ヒラヌルトコロノ船ト云フモノガアル、此船ト云フモノヲバ、ホツタラカシテ置ケバ、船ハ鐵モ鍍タリ腐タリヌル、港ハ益々塞ルト云フコトニナルガ故ニ、ホツタラカシテ置ケバ、ソレマデ二百何十萬圓ト出シタモノガ、無駄ニナツテシマフガ故ニ、是デケノ金ヲバ、已ムヲ得ヌ支出シタノデアアル、最初ノ基隆築港ト云フコトハ、稍々意味ガ違ツデ、唯浚渫船ナドノ破壞廢損ト云フコトヲバ、防グニ止マツタケノ支出デアリマス、ト云フノガ、是ガ當局者ノ答辯デアル、當局者ノ答辯デゴザイマス、ケレドモ、委員會ニ於テハ、免モ角モ基隆築港費ト云フモノヲバ、削減シタノデアアルガ故ニ、削減スルト云フ決議ヲシタ以上ハ、縱令豫備金タリト雖モ、之ヲ出シテ使フト云フコトハ、當院議決ノ神聖ヲ汚シタモノデアアルト云フノガ、是ガ大體ノ趣意デゴザイマシテ、其間ニハ隨分イロ／＼ノ議論答辯モアツタデゴザイマス、詳細ノコトハ此速記録ニ載ツテ居リマス、速記録ヲ御覽ニナレバ、詳細ノコトハ分リマス、免モ角モ此院ニ於テ支出スベカラズト云フ決議ヲシタ以上ハ、縱令豫備金タリト雖モ、之ヲ使フト云フ許スト云フノハ、當院議決ノ神聖ヲ汚スモノデアアル、是ガ大體ノ趣意デ、ソコデ御覽ノ通ニ、三十五年度豫備金支出三就キマシテハ、多分御手許ニ廻ッテ居ルデゴザイマセウガ、此決議ニナリマシテゴザイマス、此三十五年度ノ方ニ於テハ、今ノ教科書編纂ノ一件ト、ソレカラ基隆築港費ノ二十三萬何千圓ト云フ此一件ト、此二ツヲ除イテハ、外ニ別ニ異議ノ申スベキ所ナキガ故ニ、此二ツデケハ承諾ヲ與ヘナイケレドモ、外全部ハ承諾ヲ與ヘルト云フ、即チ承諾スベキモノト、承諾スベカラザルモノトヲ、二ツニ別ケテ、サウシテ決議ヲバ致シ

マシゴザイマス、所ガ序ナガラチヨット御報告ヲ致シマスルガ、此基隆築港並ニ文部省ノ編纂費ニ付イテハ、政府ニ承諾ヲ與ヘテ宜シト云フ説モ、出マシゴザイマスガ、是ハ政府委員ナドノ言フコロノ説ト、略、同一ノ理由デ、政府案賛成ノ説ヲ、述ベラレタ委員ガゴザイマス、委員ガゴザイマスルケレドモ、之ニハ委員會デハ賛成者ガゴザイマセナク、マシゴザイマスルカラ、是モ序ナガラ御報告ヲ致シテ置キマス、三十八年度ノ豫備金支出並ニ剩餘金支出ハ、左様ナコトニナリマシタガ故ニ、此別ニ出テ居リマスル三十八年度ノ清國事件費ノ支出ト云モノモ、即チ承諾ヲ與ヘル、斯云フコトニナリマシテゴザイマスカラ、其大要タケテバ御報告ヲ致シテ置キマス、序ニ一言述ベテ置キマスガ、速記録ノ中ノ第二回ノ速記録ニ、憲法第六十二條六十二條ノ始終書イテゴザイマス、是ハ憲法第六十四條ノ誤植デゴザイマスルカラ、御覽ノ御方ハ、ドウゾ左様御直シ願ヒマス、御報告ハ是タケテゴザイマス

○議長(松田正久君) 會藏大臣ノ發言

(大藏大臣男爵曾根龍助君)

○大藏大臣(男爵曾根龍助君) 唯今委員長ヨリ御報告ナリマシタコロノ、不承諾ト云フ御報告ニナリマシタ二ツノ點ニ就キマシテ、即チ臨時教科書編纂費、並ニ基隆築港維持費支出ノコトニ就キマシテ、政府ノ考ヘテ居リマシタコロヲ、一言申上ゲマス、抑、此事タル、第十八議會ニ於キマシテ、唯今委員長カラ報告ニナッタ通ニ、國定教科書編纂費、並ニ基隆築港第二期擴張費ト云フモノガ出マシタ、ソレガ否決ニナリマシタ、ソレガタメニ、其善後ノ處分ニ付キマシテハ、政府ニ於キマシテモ、種々考慮シマシタガ、何分ニモ其儘ニ置キマシタ時分ニハ、即チ政府ノ責任トシテ、立ッテ往ケヌ話ニナリマス、若モ其儘ニシテ拾遺クト云フコトニナリマスルト、三十七年ノ四月カラハ、全國ノ多數ノ小學校ニ教科書ノ缺乏ヲ來スト、斯ウ云フ結果ニナリマス、即チ其結果ト云フモノハ、小學教育ニ多大ノ不幸ヲ來スト云フコトガ、明瞭ニナリマシタ、此教育ニ不幸ヲ來スト云フコトガ、明瞭ニナリマシタ時分ニハ、到底政府ガ責任上、措置クコトガ出來ナイト云フ次第デゴザイマス、又基隆築港ノコトニ於キマシテモ、第二期ノ擴張事業ハ、固ヨリ見合セマシタガ、何トカシテ其事ノ維持始末ヲ付ケマセネバ、委員長カラモ、既ニ御報告ノアツタ通ニ、多數ノ器具、機械、船舶等ガ、詰リ腐シマシタ、自然ト其用ヲ爲スコトガ出來ナイ、他日到底ヤラニヤナラヌ仕事デゴザイマスカラ、其器具、機械、船舶等ガ腐敗シテシマツタ、其用ヲ爲サヌト云フ場合ニナリマスレバ、再ビ器具、機械、船舶ヲ新調シナクテハナラヌト云フコトニナリマシテ、非常ナ損失ヲ蒙ルコトガ明カニナリマシタ故ニ、築港ノコトハ見合セマシタガ、元來築港ノコト、云フモノハ、臺灣ノ島民ノ負擔デ、之ヲ爲ステ參リマスモノデゴザイマスカラ、看ス、島民ノ負擔ヲ増加スルコト云フコトヲ、知リナガラ、其儘ニ拋擲シテ構ハナイト云フコトハ、是亦政府ガ新領土ニ對スル施政ノ責任上、實ニ困難至極ノコトデゴザイマス、斯様ナ事情デゴザイマスカラ、政府ニ教科書ノ編纂ニ付キマシテハ、即チ差當リノコトヲ致シマシタ、差當リ三十七年ノ四月ニ於キマシテ、教科書ノ缺乏ヲ致サヌ、タケノコトヲ限度ト致シマシテ、其費用ヲ支出致シマシタ、又基隆築港ノ方ニ付キマシテハ、唯現狀ヲ維持スルコトニ留メマシテ、是タケノ費用ヲ支出致シタノデゴザイマス、此事ニ就キマシテハ、今委員長カラ御報告ニナッタヤウナ御説ガ、出ルデアラウト云フコトヲ考ヘテ、初メカラ居リマシタカラ、餘程研究ヲ致シマシテ、十分考慮ヲ盡シマシタ上デ、政府ニ於キマシテハ、施政ノ責任上、已ムヲ得ズ、是非執ラネバナラヌト云フ手段ハ、是ニ外ナラズト、斯ウ考ヘテ執ツタ仕事デゴザイマス、政府ニ於キマシテハ、不當トハ考ヘマセヌ、却テ負擔ヲ増サヌヤウニシ、且又教育ノ方ニ於キマシテハ、教科書ノ缺乏ヲ來

タシテ、子弟ノ教育ヲ不十分ナラシムルヤウナコトハ、セヌト云フコトヲ以テ、致シタコトデゴザイマスカラ、是タケテドウゾ皆サン、御肯キ下サルヤウニ致シタイノデス

○議長(松田正久君) 議事日程第一明治三十五年豫備金支出ノ件ヲ、討論ニ附シマス

第一 明治三十五年豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政

府提出)

○恒松隆慶君(百五十九番) 委員長報告通、異議アリマセヌ

○議長(松田正久君) 花井卓藏君ハ異議ガアリマセヌ

○花井卓藏君(三百七番) 私ハ異議ハアツタガ、立ッテナガラゴザイマセヌ

○議長(松田正久君) 二百八十九番

○早速整爾君(二百八十九番) 私ハチヨット委員長ニ對シテ、御尋ヲ致シタイと思ッテ居リマスガ、此豫備金支出承諾ヲ求ムル件ニ付イテ、政府ガ前ノ議會ニ、之ヲ提出シナカッタト云フコトハ、怠慢ナル、不當ナルト云フコトヲ認メテ、委員會ニ於テハ、將ニ不當ナルト云フ決議ヲシヤウトシタガ、終ニ其決議ヲシナカッタト云フコトデアル、怠慢ナル、不當ナルト云フ決議ヲシヤウトシタガ、誰ノ眼カラ見テモ、同ジコトデアラウト考ヘマスガ、委員會ハ其不當ナルト云フ決議ヲ、將ニシヤウトシテ、シナカッタト云フ理由ヲ、委員長ニ承リタイ、委員長ハ大藏大臣ガ出テ來テ、將來ハ屹度心得ル、是カラ後ハ左様ナコトノナイヤウニ、早ク議會ニ向ッテ之ヲ提出スルコトニ決シタト云フコトヲ、大藏大臣ガ述ベタカラ、委員會デハ不當ナルト云フ、議決ヲシナカッタト云フ話デアルガ、ソレデハ不當ナルト云フ議決ヲ、シナカッタ理由ニハナラヌと思フ、無論政府ガ不當ノコトヲシタ以上ハ、將來ニ於キマシテハ、ソレヲ改メ速ニ議會ニ報告スルコト云フコトハ、政府ノ責任デアルケレドモ、現在前ニ既ニ不當ノ事ヲシタスレバ、ソレハ不當ナルト云フ決議ヲ、無論シナケレバナラヌと思フ、將ニ不當ナルト云フ決議ヲシ掛ケタガ、大藏大臣ガ斯様ニ言ツタカラ、其決議ヲスルヲ止メタト云フコトハ、理由ガ分ラナイ、ソレカラ政府ノ方デモ、大藏大臣ハ、是カラ後ハ速ニ之ヲ報告スルコト云フコトヲ、明言セラレタ以上ハ、大藏大臣自ラモ、是マデノヤリ方ガ不當デアッタト云フコトヲ、御覽リニナッタデアラウト思フ、サウスレバ唯將來ハ免モ角モ、既往ニ不當ノ行ヲシタト云フコトニ對シテ、政府ハ其責任ヲ如何ニサレカ、是ハ政府ニ向ッテ質問デアル、委員長ニ御答辯ヲ煩ハシ、併セテ其責任ヲ如何ニスルカト云フコトヲ、政府ニ承リタイノデアリマス

○肥塚龍君(三百二十四番) 唯今早速君ノ委員長ニ對スル質問ガゴザイマシタガ、別ニ登壇スル程ノ物柄デモナカラウト思ヒマスカラ、是カラ御答辯致シマス、三十五年度ノ豫備金支出ヲ、二十一議會ニ提出シテ承諾ヲ求ムルコト云フコトハ、時期ノ後レタコトハ、是ハ無論ノ話デアツタ、委員會デモ、イロ／＼議論ガアツタデアアル、議論ガアツタデアゴザイマスガ、委員會ハ之ヲ承諾ヲ與ヘルト云フコトニナリマシタ譯ハ、委員會ニ於テハ、政府ニ對シテ、戰ヲ挑ミ、喧嘩ヲスルコト云フ氣ハ、更ニナイデアアル、雙方圓滑ニ往クコトナレバ、ソレデ澤山デアラウト思フ、又ソレヲバ大藏大臣ガ出テ來テ、既往ハ不都合デアツタガ、將來ハ左様ナコトハシナイト云ハレタコトハ、却テ不當ナルト云フ決議ヲスルコトヨリハ、委員會ニ於テハ、獨リ委員會ノミナラズ、當議會ニ於テモ一層ノ便利デアルト思フ、ソレハ外デモゴザイマセヌガ、政府ガ飽マデ是マデノヤウニ、三十五年度ノ豫備金支出ヲ、三十八年ノ豫算ヲ議スル所ニ持ッテ來テ、書出シタト云フヤウナコトニ付イテ、押問答ノ末、憲法ハ後日ト書イタル、會計法ハ何々ト書イタルト云フヤウナ、文字ノ爭ヲシテ、其解釋ガ幾様ニモ涉ッテ、甚ダ不判然ナルコトデアル、然ルニ幸ニ大藏大臣ガ出テ來ラレ

考ヘマセヌ、却テ負擔ヲ増サヌヤウニシ、且又教育ノ方ニ於キマシテハ、教科書ノ缺乏ヲ來

テ、以來ハ斯様ナコトハシナイ、必ズ眞先ニ出シ得ベキ議會ノ來タトキニ出シマス、此一言
デ、疑感ニナデ居ル問題ノ解釋ヲ、一定シテヤウナモノデアラカラ、ソレデ委員會ニ於テ
ハ、強テ戰ヲ挑ム必要ナキガ故ニ、大臣ガ左様ナコトヲ證言シ、又委員會ニ於テ、
是ヲ委員長ヨリ報告スル以上ハ、認可ヲ與ヘテ宜カラウ、即チ一方ハ謝罪ヲ爲シ、一
方ハ認容スルト云フコトハ、更ニ不都合ノナイコトデアラウト思フガ故ニ、承諾ヲ與ヘタ
デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○早速整爾君(二百八十九番) 唯今委員長カラ御答ガゴザイマシタガ、ヤハリ私ハ委
員長ノ御報告ニ付イテ、要領ヲ得ルコトガ、出來ナイデアリマス、政府ト戰ヲ挑ムト云
フコトハ嫌ヒデアル、成ベク圓滿ニヤリタイカラト云フ……

○議長(松田正久君) 二百八十九番ニ注意致シマスガ、反對カ何カ述べラレルノデ
アリマス、更ニ質問ヲスルノデアリマス

○早速整爾君(二百八十九番) 更ニ質問ヲスルノデアル、委員長ノ報告ヲ確メ
デス、ソレデ此理由ガ能ク分ラナイ、戰ヲ好ムノデナイ、圓滿ヲ欲スルノデアルト言ハレル
デアルガ、ソレヲ不當ト認メタガ、不當ト議決スルコトハ、シナイト云フコトハ、分ラナイ、今
大藏大臣ハ謝罪シタト云フヤウナ、御話デアッタガ、ドウ云フ言葉ニ於テ謝罪シタカ、大
藏大臣ガ謝罪シタナラバ、既往ノ責任ハ許シテモ差支ナイト云フ御意見デアレバ、ソレハ
分ラナイ、是カラ後斯ウスルト云フコトヲ、大藏大臣ガ明言シタシテモ、既ニ不當ナコト
ヲシタシテモ、既往ノ行為ニ對シテハ、當然責任ヲ免レルコトハ出來ナイデアル、更ニ
私ハ委員長カラ大藏大臣ガ謝罪シタト言ハレルコトヲ、モウ少シ大藏大臣ノ言葉ヲ、此
議場デ詳シク説明シテ貰ヒタイ、ソレト大藏大臣ハ、其謝罪ノ言葉ヲ當議場ニ於テモ、
明カニ言フテ戴ケルヤ否ヤ(無用々々)ノ聲起ル)其上ニ此問題ヲ相當トスルヤ否ヤ、承
諾ヲ與フルヤ否ヤヲ、決シタイと思ヒマス

○肥塚龍君(二百二十四番) 現ニ此御覽ノ通、三十五年度ノ報告書ニ於テ、斯
様ニ書イデアル、「大藏大臣ニ於テ將來ハ法律ノ規程ニ依ル最近ノ機會ヲ以テ議會ニ
提出スヘシト」證言アリシヲ以テ云々」斯ウ云フコトガ書イデアル、大藏大臣ガ出席
シテ、サウシテ既往ニ間違ッタ、遣リ損ツタト云フコトヲ明言スル以上ハ、即チ謝罪ヲシテモ許
サスト云フ問題デハナイと思フ、其詳細ヲ聞キタイト云フコトデアル、ソレハ大藏大臣ガ答
辯セラル、カ知ラヌガ、詳細ノコトハ大藏大臣ヨリモ、速記録ヲ御覽ニナレバ、直グ分ル
ト、考ヘル

〔採決々々〕ノ聲起ル)
○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ、本案ノ承諾ヲ與フルヤ否ヤノ決ヲ採リマス、
本案ノ承諾ヲ與フルコトニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(松田正久君) 多數デゴザイマスカラ、承諾ヲ與フルコトニ決シマス、日程第二
明治三十五年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件ヲ、討議ニ附シマス

第二 明治三十五年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出
出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

○恆松隆慶君(百九十五番) 委員長報告通、異議ナシ
○議長(松田正久君) 委員長報告通、異議ナシ
ハ委員長報告通、承諾ヲ與フルコトニ致シマス、次ハ第三明治三十五年度特別會計豫
備金支出ノ件ヲ、討議ニ附シマス

第三 明治三十五年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求
ムル件)(政府提出)

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル)

〔委員長報告通〕ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 委員長報告通、御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ノ聲起ル)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、委員長ノ報告ノ通、本案ハ承諾ヲ與フル
コトニ決シマス、次ハ日程ノ第四明治三十五年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過
支出ノ件ヲ、討議ニ附シマス

第四 明治三十五年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支
出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル)

○議長(松田正久君) 委員長報告ノ通、御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル)

○議長(松田正久君) 是モ御異議ガナケレバ、本案ノ承諾ヲ與フルコトニ決シマス
日程第五明治三十五年度清國事件第二豫備金支出ノ件ヲ、討議ニ附シマス

第五 明治三十五年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ
求ムル件)(政府提出)

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル)

○議長(松田正久君) 委員長報告ノ通、御異議ハアリマセヌカ 御異議ガナケレ
バ、本案ハ承諾ヲ與フルコトニ決シマス 議事日程第六明治三十六年度豫備金支出
ノ件ヲ討議ニ附シマス、森本駿君

第六 明治三十六年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政
府提出)

〔森本駿君登壇〕

○森本駿君(百四十七番) 諸君、明治三十六年度豫備金支出ノ件ハ、唯今委員
長カラ報告ガアリマシタ如クニシテ、委員會ハ一人ノ反對者ヲ除ク外ハ、滿場一致ヲ
以テ、其中文部省ニ於ケル教科書編纂費、及内務省所管ノ基隆築港維持費ヲ、否
決スルコトニ決議ヲ致シタデアリマス、故ニ最早私が登壇シテ、演説スル必要ハナイト
信ジマス、委員長ノ報告ニ對シテ、大藏大臣ハ、特ニ登壇セラレテ、而シテ政府
ノ意思ヲ表明セラレタデアル、其政府ノ意思ヲ表明ノ仕方ヲ見マスト云フト、斯ノ如キ
議論ガアルコト、思ッテ、政府ハ特ニ慎重ノ調査ヲシタ上、ドウシテモ施政上是ハ政府ノ
責任トシテ、ヤルベキモノトシテ、否決セラレタニ拘ハラズ、豫備金支出ヲシタデアルト云フ
コトノ表明デアル、斯ノ如ク政府ガ餘程慎重ノ調査ヲシテ、故意ニ之ヲ支出シテ、議會ノ
決議ヲ蹂躪セラレ、ト云フコトニ付イデハ、一言辯シテ置カケレバナラヌト、私ハ信スル
デアル、元來事後承諾ト云フコトハ、餘程後ニナルガタメニ、責任觀念ガ銷滅スルノ憂ガ
アルト信ズル、而シテ是マデモ事後承諾案ニ付イデハ、議會ガ輕カニシテ、承諾ヲ與フル
ト云フヤウナル慣例ガ、動モスレバ起デアルデアル、現ニ先年農商務省所管ニ於テ、
製鐵所ノ費用ヲ、議會ハ否決シタ、而シテ後ニ製鐵所ノ費用ニ對シテ、豫備費ノ支出
ガアツタ、之ヲ容易ニ議會ガ承諾シタト云フヤウナル慣例ガ、茲ニ殘デ居ルデアル、サ
ウスルト行政官ハ、ドウスルカト云フト、ナニ議會ガ否決セラレテモ、豫備金支出ヲヤリサ

ヘスレバ、承諾ハ易トシテ得ラル、コトデアルト云フヤナル觀念ヲ起シテ、而シテ議會ノ責任ヲ完フルコト云フコトヲ、出來ナクスト云フヤナル嫌ガアルノデアルカラ、此際ニ於テハ、議會ガ否決シタモノデアラナラバ、其否決シタ精神ヲ完フルコト云フコトガ、最も必要デアルト、私ハ信ズルノデアアル、而シテ第二豫備金ヲ支出セラレタノハ、如何ニモ餘儀ナイ事情ガアツテ、責任解除ノ已ムヲ得ザルコトガアレバ、責任解除ノ途モ求メラレタデアラウト思フガ、此二ツニ於テハ、責任解除ノ途ヲ取ルコトガ、ドウシテ委員會ニ於テハ、出來ナカッタデアアル、何故ニ責任解除ノ途ヲ取ルコトガ、出來ナカッタト云フノ、文部省ノ方ハ、若シ政府ガ第二豫備金ヲ支出シナクテモ、勅令及省令ヲ變ヘサヘスレバ、教科書ハ決シテ無イノデアナイ、成程國定教科書ヲ第二豫備金支出ニ依テ、編纂シ得タデアラウ、編纂シ得タニ違ヒナイガ、其國定教科書ヲ、今以テ東京ノ真中ニ於テ、使テ居ラナイノデアアル、即チ舊來ノ教科書ヲ使テ居ル、教科書ニハ事缺カヌケレドモ、教科書審査會ガ腐敗シテ居ラナカラ、或府縣ニ於テハ用ルコトガ出來ヌト云フ、勅令及省令ガアルカラ、如何トモスルコトガ出來ヌ、然ラバ其勅令省令ヲ變ヘルコトニ於テ、何カアラント思フ、此事ニ於テハ、十八議會ニ、當局大臣ト政府委員ト、私ハ豫算委員會ニ於テ、十分討議ヲ盡シタ、其結果否決トナツタ費目デアラガ、詰リ此間委員會ニ於テ、當局大臣ノ説明ヲ聞クト、斯ノ如キコトニ歸著スル、教科書ガナクナルコト云フコトハ、如何トモ仕方ガナイ、故ニ責任ヲ取ツテヤタノデ、其勅令ハ樞密院ノ許可ヲ受ケナケレバナラヌカラ、容易ニ、改正ガ出來ナイト云フコトニ歸著シタ、併ナガラ、樞密院ト議會トハ、相共ニ憲法ニ認メラレテ居ル機關デアラガ故ニ、勅令ハ樞密院ノ諮詢ヲ經テ、發布シタモノニシタトコトガ、其勅令ヲ遂行スルタメニ、時ノ文部大臣ガ豫算ヲ編纂シテ、教科書ノ費用ヲ求メタ、其要求シタ費用ガ、議會ニ於テ容レラレナカッタト云ヘバ、勅令遂行ノ途ガナクナルカラ、今度ハ政府ガ樞密院ニ往テ、勅令改正案ヲ出シテ、若シ是ガ萬一樞密院否決ニナツタト云フ場合ナレバ、所謂政府ガ執ルベキ途ガ、唯一途アルノミト云フ見解ヲ以テ、第二豫備金支出スル、是ナラバ多少酌量スベキトコトガアルガ、勅令ハ樞密院極メテ變ヘルコトハ出來ヌ、議會ハ費用ヲ否決シタガ、勅令ハドウシテモ變ヘルコトガ出來ヌト云フノデアハ、政府ガ執ルベキ途ヲ、十分盡シタト云ヘナイ、而シテ又事實上教科書ガナクナルナラ、事情已ムヲ得ヌト云フコトモアルガ、教科書ハ現在アルノデ、古イ教科書ガ東京ノ真中ニ於テ、今日モ行ハレテ、他ノ府縣ガ審查會ノ結果尙勅令ノ範圍内ニ於テ、行フコトガ出來ヌト云フニ、歸著スルノデアアルカラ、是デハ政府ノ執ルベキ途ヲ、盡サズシテ、議會ノ否決ヲ蹂躪シテ、第二豫備金ヲ支出シタト云フコトニナル、是デハ不當デアルト云フノデ、即チ委員會ニ於テハ、承諾ヲ與ヘヌコトニ決シタデアアル、大藏省ハ施政ノ方針ニ於テ、已ムヲ得ヌコトデアルト云フガ、是ハ認メルコトガ出來ヌト思フ、又臺灣築港ノ事モ同ジデアアル、(此時議長森本駿君ニ注意ス)ソレデハ臺灣ノ方ハ、マダ日程ニ這入ラヌ居ラヌサウデスカラ、文部省マケテ進ベテ置キマス

○南條吉左衛門君(三百六十五番) 議長

○議長(松田正久君) 三百六十五番

(南條吉左衛門君登壇)

○南條吉左衛門君(三百六十五番) 本問題ニ就キマシテハ、私モ委員ノ一人デアリマスガ、併ナガラ委員會多數ノ意見ニ反對ノ考ヲ持ツテ居ル、即チ承諾ヲ與ヘテ可ナリ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス、尙唯今委員會中一人ト指サレタ、其一人ハ即チ本委員ヲ指サレタモノデアラウガ、決シテ一人デハナカッタ、マアウレハ幾人デモ宜イガ、森本君ノ意見ニハ、五名ノ贊成ガアツテ、外ハ贊否ガ明カナツテ居ナカッタ、ウレハ何レデモ宜イ、多數ヲ以テ

委員會ハ承諾ヲ與フベカラザルコトナリマシタガ、私ハ承諾ヲ與フベカラスト云フハ、少シ難キヲ強ニル、所謂無理ノ決議ヲラウト思フ、ト云フモノハ、十八議會ニ於テ此教科書編纂費ヲ否決シタ、ソレハ議會ノ權能デアラカラ、何レデモ宜イガ、之ヲ否決シタ結果トシテ、其翌年ヨリ小學校用ニ使フ教科書ガナイト云フ結果ニナリ、若シ斯様ノモノガナカッタナラバ、全國ノ小學校教育ニ、忽チ差支ヲ與ヘ、停滯ヲ來スコトニナル、此場合ニ當テ政府ガ斯ノ如キ處置ヲシタノハ、決シテ不當ノコトデアナイ、所謂國定教科書ト云フモノヲ、其身其儘一年分致シタト云フノデアナイ、國定教科書ノ費用ハ、否決シタニ相違ナイガ、元來國定教科書ハ、此時ニ當テ基礎ヲ定メ、將來其方針ヲ以テ推シテ參ラウト云フ精神カラ、政府ハ提出シタ、ウレハ否決シタノデアルケレドモ、ウレハ否決サレタモ、一方ニ彼ノ犯罪事項ガアツテ、爲ニ翌年ヨリ使用スル小學教科書ガ確カニ不足ヲ告ゲル結果ニナツテ居ル、此不足ヲ告ゲルニ拘ハラズ、小學教育ヲナスコトガ出來ナイニ拘ハラズ、之ヲ使用スルコトガ出來ナイ、是ニ向テ必要ノ支出スルコトガ、出來ナイト云フコトハ、殆ド當局者ヲシテ、政府ヲシテ本偶ニアラシメバ出來ルカ知ラヌガ、若シ之ヲ否決シタ儘ニシテ置イタナラバ、如何デアアル、教育ニ差支ヲ生ジ、定メテ本院ハ聲ヲ高メテ、當局者ヲ御答メニナルコト、思フ、然ルニ幸ニ之ヲ補テ參タト云フハ、流石ニ其勸メ全ウシタモノト見テ宜イ、森本君ノ如キハ、勅令省令ヲ改メバ宜イト云フガ、勅令省令ハ斯様ナモノガ否決サレヤウト思フデ、拵ヘタモノデアナイ、ウレニモウツ、東京ニ於テハ、之ヲ現在行ツテ居ルデアナイカト云フガ、現ニ文部省ニ於テ編纂シタ教科書ヲ用非テ居ル所ガ、三十府縣以上ニ及ンデ居ルコトヲ、承ツテ居ル、斯様ニ三十府縣ニモ及フモノガ、若シ是ガヤリナカッタナラバ、忽チ差支ヲ見ル、差支ガアツテモ宜シイ、種々様々不都合ノ行爲ヲ、本屋ニナシメナイタメニ出シタ省令等ヲ改正シテ、ウレハ見通シテ、教育上ニ差支ヲ生ジテモ宜イト云フコトハ、全ク間違ッタ話デアルト思フ、殊ニ十八議會ノ時、委員長ノ報告ニ、此短期議會ニ國定教科書ノ基本ヲ定メルハ無理デアアル、是ハ次ノ議會ニシテモ宜イト云フコトデ、何ニモ國定教科書ノ趣意ヲ、マルデ、非認シタモノデアナイト見テ居ル、然ルニ之ヲ通常議會マデ延バシテ、所謂國定ノ書物ヲ編纂スルニハ、時期切迫シテ、翌年四月一日カラ使用スル教科書ニ、不都合ヲ來スカラト云フデ、臨時ニ一部ノ編纂ヲシタノデアアル、故ニ一方ハ國定教科書デアラガ、是ハ臨時教科書ト云フベキモノデ、事實已ムヲ得ザルタメニ支出シタノデアアル、因テ私ハ是ニ承諾ヲ與ヘテ宜イト云フ、考ヲ持ツテ居ルノデアリマス

○議長(松田正久君) 守屋此助君

(守屋此助君登壇)

○守屋此助君(百九十二番) 諸君、凡ソ帝國議會ノ議案ニ上ルモノニシテ、其一回限ノモノガアリ、此決議ノ模様ニ依テ、將來ニ效力ヲ及ボス重大ナルモノガゴザリマスルガ、唯今ノ日程ニ上ツテ居ルモノハ、將來ノ慣例ニ於テ、憲法政治ノ消長ニ關係致スト考ヘマスルカラ、私ハ此處テ一言諸君ニ私ノ愚案ヲ、聽イテ戴キタイノデゴザリマス(一)議院ト(呼フ者アリ)豫備金支出ノ事柄ニ付イテ、大藏大臣ハ如何ニ世ノ中ノ俗物ヲ、愚弄スルニ足ルダケノ理窟ヲ言ハレタガ、如何ニ識者ヲ同意サセザルコトヲ、愚論ヲ述ベラレタカ、天下ノ俗物ヲ愚弄スルニ足ルダケノ理由ハアルガ、天下ノ政治家ハ決シテ同意セザル事柄ハ、何タルコトヲ述ベラレタカ、大藏大臣ノ言ニ曰ク、十八議會ニ教科書ノ費目ヲ否決セラレタカラ、其儘ニ致シテ置ケバ、三十七年四月一日以後ハ、天下ニ教科書ト云フモノガナクナルデアアル、ウレ故ニ政府ハ責任ヲ以テ、此支出ヲシタト、斯様ニ云ツテ居ラル、是ガ天下ノ俗物ヲ欺クニ足リ、識者ヲ欺クニ足ラナイ、識者ノ一笑ニモ値

スルニ足ラザルモナアル、何故ナラバ——何故ナラバ十八議會ニ於テ、政府ニハ此國定教科書ノ費目ヲ割ラレバ、三十七年四月一日以後ハ、教科書ガナクナリマスルコト云フコトハ、再三再四再五再六マデ述べタルナアル、國民ガ信任致シ國民ガ重キ付託ヲ致シテ居ル帝國議會ノ議員ハ、慎重審議ヲ致シテ結果、決シテ帝國議會ノ議員ノ權能ト致シテ見ルトコロハ、時ノ行政府ガ見ルガ如キ、左様ナ淺薄ナ考ハ持タナイ、決シテ教科書ノ缺乏ハ致サヌコト、斯ウ云フ事柄ヲ、餘程慎重ニ取調ベ、民間ノ教育事業ニ熱心セラル、所ノ諸君ノ事實ノ御調査ノ上、斯様ニ決シタルナアル、ソレデ帝國議會ノ見ル所ハ、教科書ノ缺乏ハナイト云フコトハ、極メタルナアル、是ガ帝國ノ神聖優スベカラザル國論ナアル、衆議院ノ決議ナアル、然ルニ此教科書ヲ、豫備金ヲ以テ、時ノ政府ガ責任ヲ以テ出シタルコト云フナラバ、其決議以後ニ新ナル事實ガ出來テ來テ、帝國議會ヲ關ハシテ理由以外ノ新事實ガ、決議後ニ發生致シタルナラバ、私モ絶對ニ出來ヌトハ思ヒマセヌ、新ナル事實ガ出來テ來タルナラバ、或ハ出來得ルカラ宜シト、事後承諾ヲ與ヘルコトガアルカモ知レヌケレドモ、諸君、アノ時分ノ委員會、竝ニ本會ニ於ケルトコロノ速記録ヲ、御覽ナサレ、今日大藏大臣ガ述べラレタコトハ、如何ニ其時政府ハ言ウタナアル、如何ニ議會ガ反對シテ、決シテ差支ハナイト云ウタナアルアリマセヌカ、然ルトコロガ固ク政府ハ執テ、頑冥不靈ニモ、自分ノ意見ヲ抑通スガタメニ、此神聖ナル帝國議會ノ決議ヲ蹂躪シテ、行政府ガ——行政府ガ立法院ナル此帝國議會ノ監督ヲ受ケベキトコロノ行政官ガ——監督ヲ受ケベキ行政官ガ、監督ヲナサル、トコロノ諸君ノ決議ニ、横棒ヲ引イタルナラバ、ゴザイマセヌカ、(拍手スル者アリ) 抹殺致シタルゴザイマセヌカ(「ヒヤ」「ト呼フ者アリ」)是ハ諸君——諸君ト吾ミト會稱大藏大臣ト云フ、個人トノ間ナラバ、或ハ默シテヤデモ宜イカモ知レマセヌカ、諸君ト吾ミハ上下ニ向テ、如何ナルトコロノ重キ責任ヲ持テ居ルカ、憲法政治ノ消長ニ付イテハ、如何ニ後世子孫ニ對シテ、重キ責任ヲ持テ居ルカ、思ヒ念フテ茲ニ到ラバ、吾輩ガ此問題ハ、將來ニ及ボストコロノ憲法政治ノ消長ニ關スル重大問題ナルカラ、默シテ置ケヌト云フ事柄ヲ言フモ、諸君偶然デハナイデハゴザイマセヌカ、此議會ハ軍國議會ナルカラ、成ベク吾輩ハシヤベルコトハ好キデアルガ、成ベク默シテ居ル積アル、ソレ故ニ今日唯今マデハ、餘程ノ事モ勘忍シテ置イテヤタルナアル、ソレハ此議會ニ——當議會ニダケ限ルコトナラ、恕シテ置イテモ宜シイノナアル、併ナガラ將來ニ及ボス事ナラバ、如何ニ軍國議會デモ、此立法院ト云フモノヲ、左様ニ輕蔑致シテ、衆議院ノ決議ヲ左様ニ蹂躪致シテ、行政官ガ得ヌト致シテ居ルコトヲ見通ス事柄ハ、何分ニモ議員ノ職責トシテ、上下ニ對スル責任ト致シテ、私ハ默シテ居ラナイノデゴザイマス(拍手スル者アリ) 流石ニ會稱大藏大臣モ一片ノ政治家ノ德義ガ稍アルカト認ムルコトハ、サウシテ且己レガ如何ニモ惡事ヲシタト云フ事柄ヲ、自ラ認メテ居ルカト云フコトヲ思フノハ、此ダケノ政府ガ責任ヲ以テ支出致シタル、此事後承諾ヲ求ムル議會ニ於テ、自分ガコソノト、アノ俗人ヲ欺クニ足ルダケノ事ヲ言ウタラバ——言ウタラバ、ドウ云フ態度ヲ取テ居ル、此事柄ガ決議ニナルマデハ、己レニ確信アレバ、何故屹然ト起テ、再三再四デモ、此討論ヲナセヌカ、先刻簡單ナル五分間程ノ、俗人ヲ欺クニ足ルダケノ愚論ヲ言ウタラバ、恰モ——恰モ死地ニ就クガ如キ態度ヲシテ、コソノト逃ゲテシマハレタ、(拍手スル者アリ) 是ガ己レニ確信ガアリ、上ハ——陛下ニ對シ奉リ、下ハ國民ニ對シテ、己レノ心ニ、天地ニ耻ヂヌト云フ確信ガアレバ、此ダケノ重大ナル問題ニ、ドウシテ大藏大臣ガ、アノ如キ態度ヲ取ラル、デアラウカ、後ト殘テ居ル大臣ガ、マデ此處ニ二三居ラル、ヤウデアルカラ、定メテ——定メテ今ノ政府ガ——今ノ政府ガ政治家ノ德義ヲ辨ヘラレテ居ルナラバ、又此支出ト云

フ事柄ガ、其イト確信シテ居ラル、ナラバ、再三再四、三時間ガ五時間、演說モナサル、デアラウト思フ、私ハ尙アレ以外ノ理窟ガアレバ、幾ラカ耳ヲ傾ケル、アレ以外トハ何事デアル、即チ十八議會ニ吾ミガ否決スルマデニ、ソレヨリ以前ニ強シテ居ラタ事實デ、其事柄ハ政府ガイロノ出シテ言ウテ、議員ガ是ナリ非ナリト關ハシテ理由以外デアル、其理由ト云フモノハ、政府ノ言フコトハ、理由ニ相成ラヌト云ウテ、吾ミハ斥ケテ教科書ニ不足ヲ生ズルコトハナイト、斯ウ認メテ決議ヲシタル、否決シタル、ソレヨリ以外ノ理窟ガアレバ、承ハルケレドモ、大藏大臣ノ言ハル、コトハ、實ニ無意味ナンデス、理窟ガナイ、左様ナ譯デゴザイマスカラ、今ドナダデゴザイマシタカ、政府辯護ノ名論ヲ御吐キニナリマシテゴザイマスルガ、ドウシテモ私ハ是ハ如何ニシテモ、政府ヲ辯護ト云フコトハ、立タヌデアラウト思フ、ソコデ殊ニ此將來ノ憲法政治ノ慣例デアルカラ、諸君ガ一人モ多ク、ドウカ反對ト云フ方ニ、御立チテ願ヒタイ、ドウモ是ハ否決スルトハ極メテ居ル、極メテ居ルガ、私ノ考ニハ唯「一人モ多ク反對」方ニ、御立チテ願ヒタイト考ヘマス、是ダケノ事ヲ申シテ御免ヲ蒙リマス

(拍手スル者アリ) 採決「ト呼フ者アリ」

○議長(松田正久君) 發議者ナケレバ、本案ノ決ヲ採リマス、先ッ本案ノ中、文部省所管ノ編纂費ニ付イテ決ヲ採リマスガ、編纂費ニ付イテ承諾ヲ與フベシトスル諸君ノ起立ヲ望ミマス

起立者 少數

○議長(松田正久君) 少數デアリマスカラ、編纂費ノ方ハ承諾ヲ與ヘヌト云フコトニ決定致シマス、次ニ其他ニ付イテハ、委員長報告通、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、其他ハ委員長ノ報告通、決定致シマス、日程第七明治三十八年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件ヲ討論ニ附シマス

第七 明治三十六年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル)

出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

○議長(松田正久君) 委員長ノ御報告通、異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、委員長報告通、本案ハ承諾ヲ與フルコトニ決シマス、議事日程第八 明治三十六年度特別會計豫備金支出ノ件ヲ討論ニ附シマス——森本駿君

第八 明治三十六年特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

(森本駿君登壇)

○森本駿君(百四十七番) 極ク簡單ニ言ヒマス、サッキ途中ニ濟シテ居リマスカラ、極ク簡單ニ言ヒマスガ、此臺灣ノ基隆築港維持費、是ハ委員長報告通、御贊成アラントヨ希望致シマス、先程大藏大臣モ説明ヲシテ、サウシテ政府ノ意思ヲ明カニセラレマシタケレドモ、此問題ト云ヒ、今決議ニナッタコロノ編纂費ノ問題ト云ヒ、共ニ當局大臣ノ説明ハナクシテ、面シテ大藏大臣ガ政府ノ意思ヲ明カニシタルコトニ付イテハ、茲ニ六ニ注意ヲスベキコトデアルト、私ハ信スルナアル、ト云フノハ、段々此支出ノアツタ以來、内閣ニ變更ガアツタデアリマスカラシテ、ソレデ現在ノ當局大臣ハ其事ニ與シタ人ハ、一人

モ今居ラヌノデアル、而シテ本當ノ責任者ガ、一人殘テ居ラル、ノガ大藏大臣デアル、第二豫備金ト云フモノガ、如何ニシテ支出サレカト云フ、當局大臣ノ請求ニ依リ、本大臣之同意ヲ表シ、勅裁ヲ經タリト云フ、其本大臣ハ大藏大臣デアデ、第二豫備金ノ支出ト云フコトニ對シテハ、當局大臣ト大藏大臣ト、聯帶ノ責任ニナリテ居ルノデアルガ、時日ノ隔タ結果トシテ、以テ兩當局大臣ハ、全ク其人ヲ異ニシテ、同意ヲ表セラレタトコロハ大藏大臣ガ、一人今日殘テ居ルノデアリマスカラ、ソレデ大藏大臣ノ意思ヲ明カニセラレタト云フコトハ、當然ノコト、思フケレドモ、此議會ノ決議ヲ重ンゼズシテ、以テ第二豫備金ヲ支出シ、而シテ其政府ノヤラントシタコトヲ、無理ニ遂行セントセラレタト云フコトハ、如何ニモ不當ノ措置ト認ムルノデアリマスカラシテ、此件ニ付イデモ、同様委員長報告通、否決セラレンコトヲ、切ニ希望致シマス

○議長(松田正久君) 發議者ナケレバ、本案ノ決ヲ採リマス——採決致シマス、委員長ノ報告ハ本案ノ中、内務省所管ノ基隆築港維持費ハ、承諾ヲ與ヘズ、其他ハ承諾ヲ與ヘルト云フコトデアリマスガ、此委員長ノ報告通、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、委員長ノ報告通決定致シマス——議事日程第九明治三十八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件ヲ討議ニ附シマス

第九

明治三十六年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 委員長報告通、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、其通ニ決定致シマス——次ニ明治三十六年度清國事件第二豫備金支出ノ件ヲ討議ニ附シマス

第十

明治三十六年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

○議長(松田正久君) 委員長報告通、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、委員長報告通、本案ハ承諾ヲ與フルコトニ決定シマス——議事日程第十一裁判所構成法中改正法律案ノ第一讀會ヲ繼續シ、委員長ノ報告ヲ致シマス——元田肇君

第十一

裁判所構成法中改正法律案

第一讀會ノ續(委員長報告)

(元田肇君登壇)

○元田肇君(百六十三番) 裁判所構成法改正法律案ノ中デ、本員外二名ノ提出ニ係ルモノト、國井庫君外數名ノ提出ニ係ルモノトガアリマシテ、同一委員ニ付託サレテ居リマスガ、其中デ此本員外二名ノ提出ニ係ルモノト分ケテ就キマシテ、審査ヲ終リマシテ、其結果ヲ報告スルコトガ出來ルコトナリマシタ、故ニ茲ニ經過ト結果ヲ御報告致シマス、委員會ニ於キマシテハ、當局大臣ノ出席ヲ求メマシテ、種々質問討論等ヲ盡シマシテゴザイマスガ、結局決ヲ採ルニ及ンデハ、附則ノ中ノ末項ヲ少シク修正致シマシタ外ハ、全會一致ヲ以テ可決致シタ譯デゴザイマス、ソレデ此附則ノ末項ニ付イデ、修正ヲ加ヘ

マシタノハ原案ノ第七十五條ヲ準用シ「トアリマシタ文字ヲ削除致シマシテ、七十三條ノ下ニ「中轉所ニ關スル規定ヲ適用セス」ト、斯様ニ直シマシタ、斯ク修正致シタ譯ハ、原案ニ依リマス、免官モ或ハ出來ルヤウニナリテ、甚ダ廣キニ失シテ、穩カナラヌ、是ニ於テ此法律ヲ施行スル際ニハ、多少判事ヲアチコチヘ移サナケレバナラヌ、轉所ニ關スル規定作用ガ自由ニナリタラ、ソレデ宜シト云フコトデ、成ベク此自由ノ範圍ヲ窮屈ニ致シマシテ、已ムヲ得ザルノ事柄デケラ其意ニ反シテ出來ルヤウニト云フ譯デ、斯ク修正シタノデアリマス、斯ノ如キ修正デ以テ、委員會ヲ通過致シタノデアリマス、尙附加テ申上ゲテ置キマスガ、國井庫君外數名ヨリ提出セラレタ裁判所構成法中改正法律案ハ、尙是ハ委員會ガ繼續致シテ居リマス、其繼續シテ居ル次第ハ、國井君、案ニ依リマス、大審院ノ判事七人ヲ五人ニスル、控訴院ノ判事五人ヲ三人ニ改メ、或ハ上告審ハ大審院ニ限ルヤウニスルト云フヤウナ、他ノ數箇條ニ付イテノ改正案ガ出テ居ルノデアリマシテ、唯今報告致シマシタ、本員外二名ノ提出案トハ、箇條ガ違フコトガアリマス、故ニ其違フ方ノ箇條ニ付イテハ、尙進ンデ審査スル必要ガアリマスカラ、本委員會ハ尙繼續シテ居リマス、不日審査結了、上ニ、報告致ス積デアリマス、此段報告致シマス

○花井卓藏君(三百七番) 質問ガアリマス、司法大臣ニ質問シタイノデスガ……

○花井卓藏君(三百七番) 司法大臣ニ明カニ御答ヲ願ヒタイノデアリマス、第一ニ御尋ネシタイノハ、此裁判所構成法、改正案ハ、全國ニ於ケル二十六箇所ノ支部ヲ廢止スルノ前提トシテ出サレタト云フ說モ、承諾ヲ居リマス、若クハ又此案、通過ノ後ニアラザレバ、二十六箇所ノ支部ハ、廢止セヌノデアルト云フ說モ承諾ヲ居リマス、果シテ支部ト此案トハ、彼ガ如キ關係ヲ有スルヤウニ云フ事柄ヲ、第一ニ承リタイ、第二ニハ支部廢止ノ問題ニ關シマシテ、本員外司法大臣ヲ御尋ネ申シタコトガアル、大臣ノ案ニ示サレタルコロノ案ハ、即チ此案デアツカノヤウニ、記憶ヲ致シテ居ルノデアアル、固ヨリ大臣ノ案ト、元田君ノ案ト一致スルト云フ事柄ハ、怪ムニ足ラナイ、智識ガ同ジデアルカラ——(笑聲起ル)ケレドモ併ナガラ政府ハ既ニ其案マデモ、御作立デニナリタルモノヲ、何ガ故ニ之ヲ提出セラレナカッタノデアラウカ、此案ニ付イデハ、閣下デモ一致致サヌノデアリマス、或ハ未定草稿デアツテ未ダ帝國議會ニ問フマデモ至ラナカッタ趣意デアルノデアアルカ、若クハ元田君ニ政府ガ、露骨ニ言ツタナラバ、提案ヲ御依頼ニナシ、御趣意デゴザイマスガ、贊否ヲ決スルニ於テ、甚ダ重要ナル關係ガゴザイマスガ、或場合ニ於テハ、政府案ニモ贊成シタイ、元田君ノ案ニモ贊成シタイ、若クハ反對シタイト存ジテ居リマスカラ、伺ッデ置キマス

○福井三郎君(三百十二番) 序ニ御答ヲ戴ク方ガ、便利ト思ヒマスカラ、發言ヲ御許シテ願ヒマス

○議長(松田正久君) 混雜スルカラ後トニナサイ

(司法大臣波多野敬直君) 唯今ノ花井君ノ御質問ニ御答致シマス、此區裁判所權限擴張ト、支部廢止ト問題トハ、實ハ直接ノ關係ハナイノデアリマス(花井卓藏君「間接ノ關係ハ如何」ト呼フ)併シ此豫算削減ノ結果、支部ヲ廢スル場合ニナリマシタ所ガ、此支部ヲ廢シマシテハ、各地餘程不便ヲ感ズル場合デゴザイマス(花井卓藏君「左様デゴザイマス大ニ困リマス」ト呼フ)豫テ政府ノ方デハ、區裁判所權限擴張ハ必要ヲ認メテ居リマシタ、ソレデ此區裁判所權限ヲ擴張致シマスレバ、經費上ニ幾カ融通ガ付ク、從テ支部モ半數以上ハ存置スルコトガ出來ルト云フ、便利ヲ得マス譯デアリマ

○司法大臣(波多野敬直君) 唯今ノ花井君ノ御質問ニ御答致シマス、此區裁判所權限擴張ト、支部廢止ト問題トハ、實ハ直接ノ關係ハナイノデアリマス(花井卓藏君「間接ノ關係ハ如何」ト呼フ)併シ此豫算削減ノ結果、支部ヲ廢スル場合ニナリマシタ所ガ、此支部ヲ廢シマシテハ、各地餘程不便ヲ感ズル場合デゴザイマス(花井卓藏君「左様デゴザイマス大ニ困リマス」ト呼フ)豫テ政府ノ方デハ、區裁判所權限擴張ハ必要ヲ認メテ居リマシタ、ソレデ此區裁判所權限ヲ擴張致シマスレバ、經費上ニ幾カ融通ガ付ク、從テ支部モ半數以上ハ存置スルコトガ出來ルト云フ、便利ヲ得マス譯デアリマ

○福井三郎君(三百十二番) 序ニ御答ヲ戴ク方ガ、便利ト思ヒマスカラ、發言ヲ御許シテ願ヒマス

○議長(松田正久君) 混雜スルカラ後トニナサイ

(司法大臣波多野敬直君) 唯今ノ花井君ノ御質問ニ御答致シマス、此區裁判所權限擴張ト、支部廢止ト問題トハ、實ハ直接ノ關係ハナイノデアリマス(花井卓藏君「間接ノ關係ハ如何」ト呼フ)併シ此豫算削減ノ結果、支部ヲ廢スル場合ニナリマシタ所ガ、此支部ヲ廢シマシテハ、各地餘程不便ヲ感ズル場合デゴザイマス(花井卓藏君「左様デゴザイマス大ニ困リマス」ト呼フ)豫テ政府ノ方デハ、區裁判所權限擴張ハ必要ヲ認メテ居リマシタ、ソレデ此區裁判所權限ヲ擴張致シマスレバ、經費上ニ幾カ融通ガ付ク、從テ支部モ半數以上ハ存置スルコトガ出來ルト云フ、便利ヲ得マス譯デアリマ

○司法大臣(波多野敬直君) 唯今ノ花井君ノ御質問ニ御答致シマス、此區裁判所權限擴張ト、支部廢止ト問題トハ、實ハ直接ノ關係ハナイノデアリマス(花井卓藏君「間接ノ關係ハ如何」ト呼フ)併シ此豫算削減ノ結果、支部ヲ廢スル場合ニナリマシタ所ガ、此支部ヲ廢シマシテハ、各地餘程不便ヲ感ズル場合デゴザイマス(花井卓藏君「左様デゴザイマス大ニ困リマス」ト呼フ)豫テ政府ノ方デハ、區裁判所權限擴張ハ必要ヲ認メテ居リマシタ、ソレデ此區裁判所權限ヲ擴張致シマスレバ、經費上ニ幾カ融通ガ付ク、從テ支部モ半數以上ハ存置スルコトガ出來ルト云フ、便利ヲ得マス譯デアリマ

○福井三郎君(三百十二番) 序ニ御答ヲ戴ク方ガ、便利ト思ヒマスカラ、發言ヲ御許シテ願ヒマス

○議長(松田正久君) 混雜スルカラ後トニナサイ

(司法大臣波多野敬直君) 唯今ノ花井君ノ御質問ニ御答致シマス、此區裁判所權限擴張ト、支部廢止ト問題トハ、實ハ直接ノ關係ハナイノデアリマス(花井卓藏君「間接ノ關係ハ如何」ト呼フ)併シ此豫算削減ノ結果、支部ヲ廢スル場合ニナリマシタ所ガ、此支部ヲ廢シマシテハ、各地餘程不便ヲ感ズル場合デゴザイマス(花井卓藏君「左様デゴザイマス大ニ困リマス」ト呼フ)豫テ政府ノ方デハ、區裁判所權限擴張ハ必要ヲ認メテ居リマシタ、ソレデ此區裁判所權限ヲ擴張致シマスレバ、經費上ニ幾カ融通ガ付ク、從テ支部モ半數以上ハ存置スルコトガ出來ルト云フ、便利ヲ得マス譯デアリマ

○司法大臣(波多野敬直君) 唯今ノ花井君ノ御質問ニ御答致シマス、此區裁判所權限擴張ト、支部廢止ト問題トハ、實ハ直接ノ關係ハナイノデアリマス(花井卓藏君「間接ノ關係ハ如何」ト呼フ)併シ此豫算削減ノ結果、支部ヲ廢スル場合ニナリマシタ所ガ、此支部ヲ廢シマシテハ、各地餘程不便ヲ感ズル場合デゴザイマス(花井卓藏君「左様デゴザイマス大ニ困リマス」ト呼フ)豫テ政府ノ方デハ、區裁判所權限擴張ハ必要ヲ認メテ居リマシタ、ソレデ此區裁判所權限ヲ擴張致シマスレバ、經費上ニ幾カ融通ガ付ク、從テ支部モ半數以上ハ存置スルコトガ出來ルト云フ、便利ヲ得マス譯デアリマ

○福井三郎君(三百十二番) 序ニ御答ヲ戴ク方ガ、便利ト思ヒマスカラ、發言ヲ御許シテ願ヒマス

ス、ツレカラ元田君ニ頼シテ出シタト云フコトゴザイマスガ、是ハ政府ニ於テハ、實ハ豫テ必要ヲ認メテ(花井卓藏君)胸襟ヲ披イテ御話シテ下サイト呼フ)既ニ一昨年ヨリ、法典調査會デモ取調ベタ案アリマス、且政府ノ方デモ、不同意ハナカッタ、即チ樞密院モ既ニ通過シテ居ル案アリマス、併ナガラ政府ハ構成法全部ノ改正ヲ實ハ企テ、居ルコトデ、此支部廢止ニ就キマシテ、必要ガ起リ、元田君ハ又此支部ノ存置ニ付イテ、餘程苦辛ヲサレタ結果、曩ニ法典調査會デ取調ベテ居リマシタ、是ハ既ニ法曹間ニモ、公ケニナリテ居ル案アリマスカラ、ソレト同一ノ案ト考ヘマスカラ、別段ニ元田君ニ依頼シテ出シタト云フ譯デアリマセヌ

○福井三郎君(三百十二番) 本員ハ司法大臣ニ質問ヲ致シマスガ、委員會ノ速記録ヲ見マスルト、委員中ノ内藤君ヨリ此案ガ若シ議場ヲ通過シテ施行セラレタ曉ハ、世ニ噂ノアル裁判所ノ支部ノ存廢ニ關係ハ如何ト云フ問ガ出テ居ル、是ニ對シテ當局大臣ノ御答ニ、是ガ通過シタナラバ、已ムコトヲ得ナイ、二十ハ箇所ノ裁判所支部ハ、寧ロ存置スルコトニナルト云フ御答ガアルヤウデアアル、凡ツ裁判所支部ノ存廢問題ト、此案トハ自ラ別問題デアデ、一緒ニハ論ジラレヌコトハ勿論、論ガゴザイマセヌガ、併シ其結果ハ本案ノ贊否ヲ決スルニ、非常ニ關係ノアル問題デアラカシテ、委員中ニ此問ガ起テ、之ニ安心ヲ與ヘルタメニ、御答ガアッタデアラウと思フ、本員モ此事ヲ審カニシテ置キマセヌト、後トニ贊否ヲ決スルニ迷ヒマスカラ、改メテ質問ヲ致シテ置キマスガ、二十六箇所ノ裁判所支部廢スルコト云フコトガ、若シ事實デアッタナラバ、實ニ由々敷一大事、經費ヲ節減スル高ハ、僅ニ二萬三千圓ト云フコトデアアル、而シテ其金ヲ減ズルタメニ、二十ハ支部ヲ廢スルコト云フ、大混雜ヲ致シマスルト、天下ニ大水ガ起ルノデアアル(笑聲起ル)斯ノ如キ少額ナ金ヲ減ズルガタメニ、斯ノ如キ輕舉ノ妄動ヲヤラレルヤウナ、當局デナイト云フコトハ、本員ガ信ジテ疑ハザルトコロデアアル、故ニ此委員會ノ御答ニ於テ此案ガ通過シタ曉ハ、二十六箇所ノ裁判所支部ヲ存置スルコト云フ、責任アル當局大臣ノ御答ヲ承テ、實ハ安心ヲ致シマシタ、同時ニ當局大臣ノ識見ノアルノニ、敬服致シマシタガ(笑聲起ル)希クハ二十六箇所ノ裁判所支部ト云ハレタノハ、日ク何處ニテアル、(無用々々)ノ聲起ル)既ニ委員會ニ於テ、二十六箇所ト云フ數ヲ明言セラレタ今日ニ於テハ、一向祕密デモゴザイマス、此上ニ安心ヲ與ヘラレルタメニ、ドウカ二十六箇所ノ裁判所ノ所在地ヲ、一々列舉セラレンコトヲ望ミマス(無用々々)ノ聲起ル)之ヲ承ツタナラバ、本員ハ安心ヲシテ、本案ノ贊否ヲ決スルコトガ出來ルト考ヘルノデアリマス、當局大臣カラ、幸ニ茲ニ大臣ノ御方ガ見エルヤウデアラカシテ、改メテ説明ヲ請ウテ置キマス(無用々々)ノ聲起ル)無用デアナイ、議員ノ言論ヲ無用トハ、ナンノコトデアアル、御控ヘナサイ

(司法大臣波多野敬直君登壇)

○司法大臣(波多野敬直君) 唯今ナタカラカ、質問ガゴザイマシタガ、ドウモ御質問ノ要領ヲ能ク何シマセヌガ、モウ一遍ドウモ要領ヲ...

○福井三郎君(三百十二番) モウ一度説明致シマス、大層長ク言ヒマシタガ、要ハ簡單ニ是デケアル、詰リ二十六箇所ノ地方裁判所ノ名前デアアル、名稱ハ何處何處デアアルカト云フコトヲ、御答ヲ戴キタイ

○司法大臣(波多野敬直君) 名稱ハ今記憶致シマセヌ

(笑聲起ル)

○恆松隆慶君(百五十九番) 直チニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○福井三郎君(三百十二番) 當局大臣ノ御答ニハ、記憶セヌト云フ御答デゴザイマ

ス、議場ヲ愚弄シテ御答アルナラバ、其様ニ承ツテ置キマス、苟モ當局大臣ノ御答ニナタ言葉ノ中ニ、二十六箇所明カニ書イテアル、御記憶ノナイコトガ、同時ニ御答ニ口ヲ衝イテ出ルト云フコトハ、常識アル本員ハ信ジラレナイ、斯ノ如キ言ヲ承ツテハ、本員ハ恰モ侮辱ヲ被ツタニ等シノデゴザイマス、名稱ノ御答ガ出來ヌナラ、出來ヌト云フ御答ヲ願ヒタイ、侮辱サレテハ本員ハ何時マデモ、此質問ヲ續ケテ止ミマセヌ、ドウモ重ネテ本員ノ納得スルヤウニ、御答ヲ願ヒタイ

○恆松隆慶君(百五十九番) 直チニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

(贊成)ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 第二讀會ヲ開クノ動議ガ出テ居リマスカラ、本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス

○議長(松田正久君) 第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(松田正久君) 多數、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ決定ヲ致シマス——恆松君ノ動議ハ、直チニ第二讀會ヲ開クコト云フデアリマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 直チニ第二讀會ヲ開クコト云フデアリマス

○議長(松田正久君) 然ラバ直チニ第二讀會ヲ開キマス、先ツ第一ノ第十四條ヲ討議ニ附シマス——望月長夫君

裁判所構成法中改正法律案

(望月長夫君登壇)

○望月長夫君(二百四十六番) 本員ハ唯今問題ニナッテ居リマス、第十四條第一號中ノ改正ニ修正ノ意見ヲ提出致シマスツレハ本條ノ修正案ノ百圓ヲ三百圓ニ改ムトアル、此三百圓ト云フノ百圓ト修正ヲ致ス、唯ツレダケノ修正デゴザイマスカラ、趣意ノ説明ハ極メテ簡單ニ致シマス、三百圓ト申スモ、二百圓ト申スモ、要スルニ程度ノ問題デ、百圓カラ三百圓マデノ程度ノ問題デアアルガ、併ナガラ此程度ハ、極メテ重要ナル程度デアルト云フコトヲ、能ク御承知ヲ請ヒタイノデアアル、即チ今日ノ我邦ノ裁判所ニ現ハル事件ノ中ニ於テ、非常ニ多數ヲ占メル重要ナル程度デアルト云フコトヲ、御承知ヲ請ヒタイ、近年ノ統計ニ依リマシテ、百圓以上二百五十圓マデノ範圍ニ屬スル民事ノ事件ハ、殆ド地方裁判所ニ現ハレル事件數ノ、半數ヲ占メテ居ル、東京ノ如キ各自ノ經濟程度ノ進ム所ハ、ツレ程ノ割合ニモナッテ居リマセヌケレドモ、地方ノ富ノ程度ノ低イ所デハ、此百圓以上二百五十圓ト云フモノガ、殆ド半數ヲ占メテ居ル、此半數ヲ占メテ居ルト云フコトハ、當ニ數字ノ上ヨリ申スノデハナイノデス、ツレガ即チ今日ノ人民ノ度合ニ於テハ、極メテ重要ナル金額デアルト云フコトヲ、御承知ヲ請ヒタイガタメニ、此事ヲ述ベマス、御承知ノ通、日本ノ人間ハ、餘リニ權利ト云フコトノミニ重キヲ置イテ、實益ノナイ訴訟マデ出スヤウニマデナッテ居リマセヌ、多クハ其爭フトコロノ金額ガ重要デアアルガタメニ、訴訟ヲ起スノデアデ、單ニ權利ヲ爭フノミニヤルト云フノハ、極メテ少ナイデス、サウ致シマスレバ、此百圓乃至二百五十圓ト云フ程度ノ金額ハ、ヤハリ日本ノ國民ノ富ノ程度ノ上ニ於テ、決シテ輕視スベキモノデハナイト云フコトガ、明瞭デアラウト思フ、私ガ強テ辯明ヲ致サズトモ、御承知ノ通、裁判ハ——日本ノ裁判所ハ四級ニ分レテ居テ、單獨ノ裁判官ガ裁判スル所カラ、七八ノ裁判官ガ裁判スル所マデアル、然ルニ唯今申スヤウニ、急激ノ改正ヲ茲ニ加ヘルト云フノハ、是ハ先キカラ段々質問ナンカノ中ニモ現ハレマシタ、或ハ支部ノ存廢問題、モウ一ツ進ンデ言フト、更ニ市トカ町トカ云フ

第二讀會

○望月長夫君(二百四十六番) 本員ハ唯今問題ニナッテ居リマス、第十四條第一號中ノ改正ニ修正ノ意見ヲ提出致シマスツレハ本條ノ修正案ノ百圓ヲ三百圓ニ改ムトアル、此三百圓ト云フノ百圓ト修正ヲ致ス、唯ツレダケノ修正デゴザイマスカラ、趣意ノ説明ハ極メテ簡單ニ致シマス、三百圓ト申スモ、二百圓ト申スモ、要スルニ程度ノ問題デ、百圓カラ三百圓マデノ程度ノ問題デアアルガ、併ナガラ此程度ハ、極メテ重要ナル程度デアルト云フコトヲ、能ク御承知ヲ請ヒタイノデアアル、即チ今日ノ我邦ノ裁判所ニ現ハル事件ノ中ニ於テ、非常ニ多數ヲ占メル重要ナル程度デアルト云フコトヲ、御承知ヲ請ヒタイ、近年ノ統計ニ依リマシテ、百圓以上二百五十圓マデノ範圍ニ屬スル民事ノ事件ハ、殆ド地方裁判所ニ現ハレル事件數ノ、半數ヲ占メテ居ル、東京ノ如キ各自ノ經濟程度ノ進ム所ハ、ツレ程ノ割合ニモナッテ居リマセヌケレドモ、地方ノ富ノ程度ノ低イ所デハ、此百圓以上二百五十圓ト云フモノガ、殆ド半數ヲ占メテ居ル、此半數ヲ占メテ居ルト云フコトハ、當ニ數字ノ上ヨリ申スノデハナイノデス、ツレガ即チ今日ノ人民ノ度合ニ於テハ、極メテ重要ナル金額デアルト云フコトヲ、御承知ヲ請ヒタイガタメニ、此事ヲ述ベマス、御承知ノ通、日本ノ人間ハ、餘リニ權利ト云フコトノミニ重キヲ置イテ、實益ノナイ訴訟マデ出スヤウニマデナッテ居リマセヌ、多クハ其爭フトコロノ金額ガ重要デアアルガタメニ、訴訟ヲ起スノデアデ、單ニ權利ヲ爭フノミニヤルト云フノハ、極メテ少ナイデス、サウ致シマスレバ、此百圓乃至二百五十圓ト云フ程度ノ金額ハ、ヤハリ日本ノ國民ノ富ノ程度ノ上ニ於テ、決シテ輕視スベキモノデハナイト云フコトガ、明瞭デアラウト思フ、私ガ強テ辯明ヲ致サズトモ、御承知ノ通、裁判ハ——日本ノ裁判所ハ四級ニ分レテ居テ、單獨ノ裁判官ガ裁判スル所カラ、七八ノ裁判官ガ裁判スル所マデアル、然ルニ唯今申スヤウニ、急激ノ改正ヲ茲ニ加ヘルト云フノハ、是ハ先キカラ段々質問ナンカノ中ニモ現ハレマシタ、或ハ支部ノ存廢問題、モウ一ツ進ンデ言フト、更ニ市トカ町トカ云フ

モノ、繁榮策ノ問題トシテ、或ハ輕キニ御考ニナツテ居ル方ガアルカト存ジマスガ、左様ナ事ガナケレバ、仕合セテゴザイマスガ、併ナガラハ一面ニ於テ、斯様ニ三百圓マデハ區裁判所ノ單獨裁判事ノ裁判ヨリ受クルコトガ、出來ナイト云フコトニ決セラレト同一デアアル、即チ今日マデ地方裁判所ニ出訴ヲ致シタ事件ノ半數マデハ、此合議裁判所ノ判決ヲ受ケル權利ヲ奪ハル、ノト、同一ニナルデアアルカラ、私共ハ全然元ノ構成法ノ通ヲ維持シヤウトハ、申シマセヌケレドモ、直チニ進ンデ二倍ニ致スト云フコトハ、甚ダ急激ニ失スルコトデアルト信ジマスカラ、先ヅ今日ニ於テハ二倍位ニ致シテ、適當デアルト確信ヲ致スノデアザイマス、殊ニ今日區裁判所——全縣ノ區裁判所ニ付イテハ、遺憾ナガラ其裁判官ガ、甚ダ不十分デアラフ、到底吾々ノ信望ヲ繋グコトガ出來ナイガ多クデス、司法大臣ハ斯ノ如クニ改正ヲ致シタナラバ、或ハ控訴院アタリノ老練ナ裁判官ヲ、各區裁判所ニ配置スルコトガ出來ルカノ如クニ、説明サレテ居リマスケレドモ、本國ノ考デハ、ハ唯言葉ノ上ニ左様ニ言ハレノミデ、決シテ實地ニ行ハレナイコトデアル、人情都會ノ地ニ住ムコトヲ好ムケレドモ、山間僻地ニ逐ヒヤラレルコトハ、誰シモ好ンデ往クモノハナイ、殊ニ裁判官ノ如キハ、轉所ニ就キマシテモ、其意ニ反シテ往ク必要ノナイコトハ——若シ給料デモ澤山ニヤツテ往ケト云フナラバ、格別デアアルケレドモ、サモナイ以上ハ懸離レタ僻地ノ區裁判所ヘ、控訴院アタリカラ左遷セラレト云フコトハ、容易ニ實行ノ出來ルモノデハナイ、成程本案施行ノ際ニハ、轉所ニ付イテハ構成法ノ規定ヲ適用シナイト云フコトガ、書イテゴザイマスケレドモ、是モ實ハ空文デアル、轉所——俸給ニ離レルコトヲ惜ンデ、山ノ中ヘ逐ヒヤラレテ、ツレテ異議ヲ言ハナイヤウナ裁判官ナレバ、是ハ決シテ立派ナ裁判官デハナイ、少シ役ニ立ツモノナラバ、ソナナ所ニ逐ヒヤラレル位ナラバ、直チニ辭職シテ辯護士ニナツシマフ、是ハモウ分リ切ッタ事柄デアル、殊ニデゴザイマス、私ガ其實證ヲ申シマセウカ、此間司法官試補ノ修習期間ニ關スル法律案ノ委員會ニ於ケル議事ノ際ニ、司法次官ハ現ニ今日全國區裁判所ノ中ニ、二十三箇所マデハ、判事ハナイガタメニ、事務ヲ執ラヌノデ居ル裁判所ガアル、即チ裁判所ト云フモノヲ拵ヘタルノニ、ツレバ其裁判官ガナイノデ、二十三箇所マデハ、事務ヲ執ラヌデ居ルト云フノガアル、斯ノ如キ法律ノ上ニ、一片轉所ニ關スル規定ヲ適用セスト云フコトヲ、書イタカラト云ツテ、此裁判官ガ——其イ裁判官ガ、地方ニズンノ往クト云フヤウナコトハ、決シテ實行ノ出來ナイ事柄デアアルカラ、地點ヨリ考ヘマシテモ、斯ノ如クニ俄ニ重大ナル權能ヲ、之ニ附與スルト云フコトハ、頗ル杞憂ニ堪ヘヌト私ハ思フ、殊ニ司法大臣ノ唯今ノ説明ヲ聽キマス、斯様ニ致セバ、支部ヲ存置スルコトガ出來ルト云ハレタケレドモ、是ハ頗ル疑ハナケレバナラヌ、何故ト申セバ唯今私ガ統計上カラ申シマシタ通ニ、民事ニ於テ三百圓以上三百圓マデト云フ事件ハ、殆ド半數ヲ占メル、此半數ノモノヲ區裁判所ニ悉クヤルト云フコトニナル、他ノ一面ニ於テ刑事ノ方モ、非常ニ之ヲ擴張シテ、殊ニ事件數デ最も多キヲ占メテ居ル竊盜ノ如キモノヲ、悉ク即チ五年ノ刑期ニ當ルモノデモ、竊盜ナレバ悉ク區裁判所デヤルト云フコトニ致シタナラバ、地方裁判所程度ノ事務ヲ、非常ニ減少シナケレバナラヌ、言葉ヲ換ヘテ申セバ、支部ノ事務ナルモノガ、殆ドナクナツテハナケレバナラヌ、區裁判所デ大體ヤツテシマフ以上ハ殊更ニ支部ヲ置イテ、三人ノ裁判官ヲ据ヘ置イテヤラセシム事ガナクナツテシマツテ、事實ノ上ニ於テ、支部ナルモノガ消滅シナケレバナラヌト云フ結果ニナリマス、即チ支部ヲ存セントスルトコロノ考ヨリシテ、斯ノ如キ案ヲ、此儘通過セタナラバ、結果ハ全ク其反對ニナツテ、即チ支部ノ自然消滅ニナルト、私ハ確信ヲ致スノデアリマス、多クハ申シマセヌ、是ハ隨分ドウモ練ラレタ案デアアルカラ、此上多クノ言葉ハ述ベマセヌガ、私ノ唯今述ベマシタ三百圓ヲ、二百圓ニ改メルト云フコトハ、今日ノ程度ニ於テ極メテ適當

ナ修正デアルト信ジテ居リマスルカラ、願クハ御賛成アラシコトヲ希望致シマス

〔拍手起リ、採決ト呼フ者アリ〕

○立川雲平君(七十五番) 議長

○議長(松田正久君) 立川君、外ニ何ゾ……

○立川雲平君(七十五番) 原案賛成ノ演説ヲ通告ガシテアル、宜シウゴザイマスカ

○議長(松田正久君) 宜シ

〔立川雲平君登壇〕

○立川雲平君(七十五番) 私ハ唯今修正説、即チ二百圓ト云フ説ニ反對ヲシテ、原案ニナツテ居ル三百圓説ヲ維持スルタメニ、暫ク御清聴ヲ煩ハシタイト考ヘマス、勿論程度ノ問題デゴザイマスル故ニ、議論ハ多ク申上ケルコトハ、出來ナイデアラウト思ヒマスルガ、此先刻來質問ノ中ニモ、支部トノ關係ノコトガ、頻リニゴザイマシタガ、全ク直接間接ノ上ノ關係ハ、ゴザイマセヌヤウデアルケレドモデス、支部ヲ存置シタイト云フ理由ハ、移テ以テ此案ヲ賛成スル理由ニナルデアリマス、ツレハドウ云フ譯デアアルカト云フナラバ、支部ヲ置キタイト云フノハ、先刻ノ論者ノ如ク、其町村ノ繁榮ヲ保ツト云フヤウナ、キタナイ考ヘデハナイノデセウ、支部ガアルナラバ、人民ガ近イ所ニアル——本廳マデ往カズシテ、近イ所ニ於テ、私訟ガ出來ルト云フタメニ、支部ヲ存置シタイト云フノガ、理由デアラウト思ヒマス、然ラバ區裁判所ノ權限ヲ擴張スルト云フノハ、即チ自己ガ私訟ヲスル場合ニ當テ、近キ所ニ於テ此訴訟ガ出來ル便利ガアル、遠キ所ニ往クナラバ、費用ヲ要シ時問ヲ損スルコトハ、言ハヌデモ明カナ話デゴザイマス、故ニ支部ヲ存立シタイト云フ御考ノ諸君ノ理由ハ、私ガ賛成ヲシテ以テ、本案區裁判所ノ權限ヲ擴張スルト云フコトニ移シタイ、望月君デゴザイマシタカ、唯今ノ御議論中ニ、金額ノ必要ノ程度ガアルト云ツテ、何カ統計ヲ御出シニナツテ、御話デゴザイマシタケレドモ、金額ニ持ツテ往ツテ、必要ト云フコトヲ分割スルコトハ、到底出來ナイノデアラウト思ヒマス、身分ノ金額ニ依ツテコソ、必要ガ生ズルデセウ、二百圓ノ爭ヒスルモノハ、其身分二百圓ニ相當スル身分デアタナラバ、ツレハ三妻三妾ガ何千萬圓ヲ爭フノト、決シテ選ブトコロガアリマセヌ、十圓爭フ者モ、又十圓ノ身代ノ者ガ十圓ヲ爭フナラバ、舉ゲテ身代ガ訴訟ノ目的物ニナルノデアリマス、故ニ二百圓デアアルカラ、必要デアル、二百圓デアアルカラ、必要デアイトハ言ハレマス、是ニ依ツテ此二百圓ト二百圓ト斷定ヲ下サウトスルノハ、其材料宜シキヲ得タモノデアイト私ハ信ジマス、ツレデ私ガ二百圓ト斷定ヲ下サウトスルノハ、今日ノ町村ノ經濟ノ膨張ノ結果、金員ト云フモノハドウ云フ具合ニ進ンデ來テ居ルカト申シマスレバ、百圓ノモノハ二百圓位ハ、必シモ怪シムニ足ラヌト思フ、必ズ此案ニ於キマシテモ、此次ニゴザイマスル彼ノ刑期ヲ、一年以下ト云フ案ガ、或ハ六箇月ニナルカモ知レマセヌガ、六箇月ニナルト致シマシテモ、元ト一箇月ノモノガ六箇月ニナリマスルナラバ、是亦三倍デアリマス、ツレデカラ此比較上カラ言ウテモ、權利ト金ト云フナラバ、金ノ方ハ忍ビ易イ、然ラバ三百圓ニ致シマシテモ、決シテ不都合ハナカラウト思ヒマス、ツレカラモウ一ツノ理由ハ、之ヲ二百圓ト致シマシタガタメニ、區裁判所ガ全國ノ上ニ於テ増加スルコトガ、九千九百四十七件増加スル、地方裁判所ノ第一審ノ減リマスルコトガ、(「簡單」ト呼フ者アリ)モウ少シ御忍ビテ願ヒタイ、地方裁判所ノ方デ減ジマスルコトガ、殆ド一千七百以上デゴザイマス、斯ウ云フ具合ニ、裁判所ノ上ニ於テ、事件ノ増加ハ必ズ來シマスルニ相違ナイガ、人民ノ方カラ申シマスルナラバ、一審モ二審モ近イ所ニ往ツテ、事ガ執レルト云フナラバ、此近イ所ノ方ヲ取ルノハ、決シテ不都合ハナカラウト思ヒマス、又論者ノ言フ如ク、訴訟事件ガ、百圓ヨリ二百五十圓マデガ、一番訴訟ガ、多イト云フノデアアルナラバ何

故二百圓ヲ主張セラル、カ、二百圓ト云フコトコトデ區域ヲ定メタナラバ、一番アルトコロノ事件ノ中幾分ヲ取ルト云フコトガ分ラナシ、其理由ガナインデアル、當局者ニ委員會ニ於テ實情ヲ致シテ結果、三百圓ニ致シマスルナラバ、統計ノ上ニ於テ、是々ノ判事ガ控訴院ニ於テ浮イテ來ル、地方裁判所ニ是々ノ判事が浮イテ來ル、區裁判所ノ方ニハ是々ノ判事が入用デアル、此邊線リヲ致シマスルナラバ、諸君ト私共ガ共々ニ常ニ不滿足ヲ感シテ居ル區裁判所ノ判事ヲシテ、其キ者ニ代ヘルコトガ出來ル、責任ヲ持テ司法大臣ガ答ヘテ居ル、若シ之ヲ二百圓ニ致シマスルナラバ、此統計ガ壞レテシマフ、此統計ガ壞レテシマフト共ニ、司法大臣即チ當局者ハ、無責任ニナリシマウ(ノウノ)ト呼フ者アリ、二百圓ニシタガタメニ、之ガ破レル、私ハ頗ルシテ遺憾ニ思フ、ソレカラ反對論者ノ御説ノ中ニハ、今ノ裁判官ハ不十分デアル、裁判官ガ不十分ナラバ、單獨判事ニ此三百圓ノ仕事ヲサセルト云フコトハ、如何デアラウカ、此點ニ至ラバ、百圓モ五十圓モ、三百圓モ、是ヨリ以上モ同シ事デアル、諸君ハ單獨判事ニ仕事ヲサス上ニ於テ、二百圓マデ、ナケレバ出來ヌト云ヒナガラ、是ガ二八ニナレバ幾億圓デモ出來ル、サウ違フ筈ガナシ、二人ニナラバ、幾億圓デモ限リナク出來ルガ、一人ガカラ二百圓デナケレバ出來ヌト云フコトハ、議員中ニハ五百圓ニシタイト云フ説モアデ、私共モ贊成シテ、ソレガ宜イト思フタガ、是ガ二百圓ニナラバ、ソレカラ今ノ有様ガ見マスルナラバ、訴訟ハ第一審ニ於テ多ク事件ガアルカ、二審ニ至ルカト云フコトノ統計ヲ見マスルナラバ、訴訟ハ多クハ上訴ガ殖ヘテ來テ居リマス、一審ニ於テ判決ヲ下サレテ、示談和解ガ濟ム事件ト、ソレカラ上ノ上訴ノ殖ヘテ來ル統計ハ、確ニ上訴スルモノガ殖ヘテ來ル、ガカラ第一審ト云フ裁判ヲ、恐クハ多クノ信用ヲ置イテ居ナイ、ソレナラバドシナ人ニサセデモ宜イカト云ヘバ、私ハサウハ言ハナイ即チ一人ノ判事デモ、精選シテ其判事ヲ得ルナラバ、此上モナイコトデアルガ、總令不十分ナガラニモ、單獨判事ニ此或事件ヲ判決シタカト云フデモ、是ヲ以テ屈服シナケレバナラヌ道理ハ、決シテゴザイマセヌ、故ニ二審ニ上訴ガアリマスカラ、是ハ差支ナイコトデアラウト思フ、今ヤ二百圓二百圓ノコトニ付イテ、議論スル價值ノナイヤウニ、諸君ガ御考ヘニナルカ知リマセヌケレドモ、三百圓ニナラバ始メテ區裁判所ノ擴張ノ効能ガ現ハレル、是ヲ二百圓ニスルナラバ、寧ろ此儘置イテ宜シ、統計ヲ拜見シマセウ、何故ニ二百圓ナラバ、ドシナ統計ガ出ルカ、控訴者クハ其上ノ判事ニ於テ、ドレ程ノ餘裕ヲ生ズルカ、未ダ以テ明カニ反對論者ハ御提出ニナラヌデアリマス、然ラバ委員會ニ於ケルコトコロ、速記録ニ依ッテ、御覽下サレマシテモ、此案ノ通過ハ吾々ノ望ムトコロノ判事ヲ、精選スルコト稍ハ人民ニ便利ヲ與フルコトハ、確ニ出來ル、何卒原案ニ御贊成アラシコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 森田卓爾君

(討論終結)又「贊成々々」ト呼フ者アリ

(森田卓爾君登壇)

○森田卓爾君(二百四十一番) 討論ハ終結シテモ(「無用々々」ト呼フ者多シ)無用デアリマセヌ、唯今ノ最後ノ問題ニ付イテ、一言辯シテ置カナケレバナラヌコトガアリマス(「無用々々」ト呼フ者多シ)外ハナシ、今マデ問題ニ現レテ居ラヌコトヲ、參考ノタメニ申シテ置カナケレバナラヌ(「無用々々」ト呼フ者多シ)謹聽々々ト呼フ者アリ、唯今ノ修正論ノ反對論ノ演説ニハ(「無用々々」ト呼フ者多シ)二百圓ニスレバ……

○議長(松田正久君) 靜肅ヲ望ミマス

○森田卓爾君(二百四十一番) 宜シウゴザイマスガ、三百圓ニ致シテ置ケバ支部ヲ廢止スルコトガ出來ル、併ナガラ是ヲ二百圓ニ修正致シマスト云フト、或多數ノ諸君ノ

希望セラレテ居ル、支部ヲ廢スルコトガ出來ヌ結果ニナルト云フ議論ガアツタ(「其通」ト呼フ者アリ)之ヲ一ツ私ハ辯解シテ置カシケレバナラヌト思フ、元來三百圓ト云フ——訴訟ノ統計ヲ示セト云フ御説デアルカラシテ、大體ノ統計ヲ示シマス、三百圓ノ訴訟ト云フモノハ、實ハ今日ノ地方裁判所ニ行ハレテ居ルコトコロ、六分方ノ訴訟デアル、而シテ此二百圓ト云フ訴訟ハ、ドウ云フモノデアルカト云フト、四分五厘方ノ訴訟デアル、斯ウナリマスル、此間ノ統計ニ於テ、左程差違ハ生ズルコトナシ、一方ニハ三百圓トシ、一方ニハ二百圓トシテ、人權トカ或ハ其他ノ關係デ、重大ノ關係ガアルニモ、拘ハラズ、二百圓ト三百圓トノ訴訟ノ標準——數ノ上カラ標準ト云フモノハ、左程違フモノデナイ(立川雲平君「故ニ原案」ト呼ビ、笑聲起ル)故ニ二百圓ト三百圓トノコトハ、暫ク程度問題ト云フ言葉ヲ以テ終リマセウ、サリナガラ之ヲ二百圓トスルタメニ、經費ノ餘裕ガ出來ズシテ、支部ヲ存置スル費用ヲ支ヘルコトガ出來ナイト云フ愚論ニ至ッデハ、是ハ一言排斥スル必要ガアラウト思ヒマスカラ、斯ウ云フコトヲ申シテ壇ヲ降りマス、之ガ二百圓ニナリマシテモ、司法當局者ニ質シテ見マスル、決シテ支部ヲ廢止スル必要ハナシ、三百圓ニシテモ、二百圓ニシテモ、支部非廢止ト云フ、人ヲ満足サセルニ綽々トシテ餘裕アルト云フコトヲ、申シテ置キマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 討論終結

(「贊成」ノ聲起ル)

○議長(松田正久君) 採決致シマス、望月君ノ修正案ヨリシテ採決致シマス、望月君ノ三百圓ヲ二百圓ニ修正スルノ説ガアリマスカラ、是ヨリ決テ採決リマス、即チ望月君ノ三百圓ヲ二百圓ニ修正スルト云フ説ニ、同意者ハ起立ヲ請ヒマス

起立者

○議長(松田正久君) 多數アリマス(拍手起ル)議長ハ多數ト認メマスルニ依ッテ、二百圓ト……

(「異議アリ」ト呼フ者多シ)

○議長(松田正久君) 異議ノ申立ニ定規ノ贊成者ガアリマスガ

(「贊成々々」又「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 異議ノ申立ニ定規ノ贊成者アリト認メマスルニ依リ、是ヨリ記名投票ヲ執行致シマス——閉鎖——是ヨリ投票ヲ執行致シマスガ、二百圓ノ修正説ニ贊成者ハ白イ札ヲ持ッテ御出デナサイ、是ニ反對者ハ青イ札ヲ持ッテ御出デナサイ

○大岡育造君(百六十四番) モウ一度宣告シテ貫ハナケレバ、明瞭ニ徹シマセヌ

○議長(松田正久君) 念ノタメニモウ一度宣告シテ貫ハナケレバ、明瞭ニ徹シマセヌ

○議長(松田正久君) 正説ニ同意者ハ、白イ札ヲ持ッテ來ルデアリマス、反對者ハ青イ札ヲ持ッテ來ルデアリマス——點呼ヲ始メマス

(書記氏名ヲ點呼ス)

○議長(松田正久君) 投票洩ハアリマセヌ——洩ガナケレバ閉鎖シマス、閉鎖——開票致シマス

(書記官投票ノ數ヲ計算ス)

○議長(松田正久君) 投票ノ結果ヲ御報告致シマス

(林田書記官朗讀)

可トスル者 百五十二

否トスル者 百二十八

(拍手起ル)

○議長(松田正久君) 望月長夫君ノ修正案ハ採用サレマシタ 第十七條ノ全部ヲ議題ニ付シマス、磯部四郎君

(磯部四郎君登壇)

○磯部四郎君(百八十三番) 本案ノ第十六條ノ第一、第二、是ハ原案ノ通ト致シマシテ第三ニ修正案ヲ提出致シマス、ソレハ極ク簡單ナ修正案デゴザイマシテ、以下トゴザイマス、本刑六箇月以下ノ禁錮ニ當ル罪、斯ウ云フ修正案デゴザイマス、ソレハ極ク簡單ナ理由デアリマシテ、先程カラ頻リニ區裁判所ノ攻擊問題ガゴザイマシタガ、現ニ刑法中本刑六箇月以下ノ刑ニ處セラルベキ罪ハ、四十八箇條ゴザイマス、是ハ現行刑法中ノ條文ダケニ止テ居リマス、其他特別法ヲ詳細ニ調査致シマシタラバ、餘程多クアラウト考ヘルデゴザイマス、而シテ其四十八箇條ノ下ニ處罰セラル、トコロノ罪ノ性質ト云フモノハ、隨分紳士君子ト云フヤウモノデモ、時々觸レ易イトコロノ罪デゴザイマス、是等ノモノヲ輕キシテ、其以上ノ刑ニ當ルモノヲ、此區裁判所ニ一任シテ置カ、甚ダ不都合デアル、即チ人權ヲ重ンズルトコロカラ、實ハ斯ノ如キ修正案ニモ、餘リ贊成デハゴザイマセヌガ、餘程原案ニ賛成デ、此修正案ヲ提出シタデアリマスカラ、何トカ此事ニ就イデハ、直チニ御贊成アラント願ヒマス

○望月長夫君(百四十六番) 今、磯部君ノ修正說ニ同意致シマス

○議長(松田正久君) 一年ヲ六箇月ニ改メ修正案ヲ討論ニ付シマス

(贊成々々) 聲起ル

○議長(松田正久君) 御異議アリマセヌカ

(異議ナシ) 聲起ル

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、磯部君ノ修正案、即チ一年ヲ六箇月ニ改メ修正案ヲ採用サレマシタ、他ハ委員長ノ報告通、御異議アリマセヌカ

(異議ナシ) 聲起ル

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ他ハ總テ委員長報告通ニ決定致シマス、第十六條以下ヲ討論ニ付シマス

(異議ナシ) 聲起ル

○議長(松田正久君) 委員長報告通、御異議アリマセヌカ

(異議ナシ) 聲起ル

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ委員長報告通、決定致シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 直チニ三讀會ヲ開イデ、確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 直チニ三讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

(贊成々々) 聲起ル

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ直チニ三讀會ヲ開キマス

裁判所構成法中改正法律案

○恆松隆慶君(百五十九番) 二讀會決議ノ通、異議アリマセヌカ

○議長(松田正久君) 二讀會決議ノ通、異議アリマセヌカ

(異議ナシ) 聲起ル

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ第三讀會ヲ終ツテ、本案ハ確定致シタルモノト認メマス、諸君ニ御諮リ致シタウゴザイマスガ、大井ト新君ヨリ、藥品營業並ニ藥品取扱規則中改正法律案ノ委員會ヲ、開キタイト云フ申出ガアリマス、許スコトニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ) 聲起ル

○議長(松田正久君) 然ラバ退場ヲ許シマス、畜牛結核豫防法中改正法律案ノ委員會ヲ、開キタイト云フコトデアリマスガ、退場ヲ許シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ) 聲起ル

○議長(松田正久君) 然ラバ退場ヲ許シマス、畜牛結核豫防法中改正法律案ノ委員會ヲ、開キタイト云フコトデアリマスガ、退場ヲ許シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ) 聲起ル

(異議ナシ) 聲起ル

○議長(松田正久君) 然ラバ是ヨリ退場ヲ許シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 次ノ日程ノ十二ヨリ二十五マデヲ一括シテ議題トシ、各提出者ノ理由ヲ省略シマシテ、サウシテ議長指名ノ委員ニ付託シタイト云フ緊急動議デアル、是ガ確定シタ後ニ、委員ノ數ハ更ニ各案ニ付イテ申述ベマス

(贊成々々) 聲起ル

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ハ、總テ一括シテ討論ニ付シテ、提出者ノ理由ヲ省略シタイト云フコトデアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ) 聲起ル

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

(異議ナシ) 聲起ル

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議、如ク決定ヲ致シマス

第十五 家祿賞典祿處分法中改正法律案(荻野芳藏) 第一讀會

家祿賞典祿處分法中改正法律案

第四條ノ二 給與ノ願出ニ對シ不許可ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十六 府縣制中改正法律案(植場平君外一名提出) 第一讀會

府縣制中改正法律案

第五條第一項ヲ左ノ如ク改ム

府縣會議員ハ府縣ノ人口五十萬未滿ハ議員三十五人ヲ以テ定員トシ五十萬以上百萬未滿ハ五萬ヲ加フル毎一人ヲ増シ百萬以上ハ七萬ヲ加フル毎一人ヲ増ス

第六條第一項ヲ左ノ如ク改ム

府縣內ノ市町村公民ニシテ市町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ府縣內ニ於テ一年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有ス

同條第二項ヲ削ル

第五十條第三項但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ其ノ開會中緊急ヲ要スル事件アルトキハ直ニ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

第六十八條第五號ヲ左ノ如ク改ム

第五 府縣費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行及物品會計ニ關スル規定ヲ議決スル事

第六十九條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

府縣參事會ハ必要ト認ムルトキハ實地ヲ調査スルコトヲ得

第七十條第一項ヲ加フ

豫備費ノ支出ハ府縣參事會ノ議決ヲ經ヘシ

附則
此ノ法律ハ明治三十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第五條及第六條ニ關シテハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

第十七 府縣制中改正法律案(小河源一君提出) 第一讀會

府縣制中改正法律案

第四條 府縣會議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

選舉區ハ郡市町ノ區域ニ依ル但シ東京市京都市大阪市其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル市ニ於テハ區ノ區域ニ依リ町ハ獨立シテ府縣會議員ヲ選舉シ得ル町ノミ町ノ區域ニ依ル

第五條 府縣會議員ハ府縣ノ人口五十萬未滿ハ議員三十五人ヲ以テ定員トシ五十萬以上百萬未滿ハ五萬ヲ加フル毎一人ヲ増シ百萬以上ハ七萬ヲ加フル毎一人ヲ増ス

町ハ人口一萬以上ノモノニ限リ獨立シテ一人ノ府縣會議員ヲ選舉スル權ヲ有ス
各選舉區ニ於テ選舉スヘキ府縣會議員ノ數ハ府縣會ノ議決ヲ經內務大臣

ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム
前項議員ノ配當方法ニ關スル必要ナル事項ハ內務大臣之ヲ定ム

第九條 獨立選舉權ヲ有セサル町長及村長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ其ノ町村內ノ選舉人名簿ニ本ヲ調製シ其ノ一本ヲ十月一日マテニ郡長ヨリ送付シヘシ

郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ合シ毎年十月十五日マテニ其ノ選舉區ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

第十條 市長及獨立選舉權ヲ有スル町長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ十月十五日マテニ其ノ選舉區ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

第十二條 郡市長及獨立選舉權ヲ有スル町長ハ十月二十日ヨリ十五日間其ノ郡市役所及町役場ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキ又ハ正當ノ事故ニ依リ前條ノ手續ヲ爲スコト能ハスシテ名簿ニ登錄セラレサル町長ハ其ノ縦覽期限內ニ之ヲ郡市町長ニ申立ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郡市町長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十日以內ニ之ヲ決定スヘシ

前項郡市町長ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡市町長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

選舉人名簿ハ十二月十五日ヲ以テ確定期限トシ確定名簿ハ次年ノ十二月十四日マテ之ヲ據置クヘシ

府縣參事會ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ヲ修正ヲ要スルトキハ郡市町長ニ於テ直ニ之ヲ修正スヘシ

本條ニ依リ郡市町長ニ於テ名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ要領ヲ告示シ郡長ハ本人住所所屬ノ町村長ニ通知シ町村長ハ之ヲ告示スヘシ

確定名簿ニ登錄セラレサル町長ハ選舉ニ參與スルコトヲ得但シ選舉人名簿ニ記載セラレハ確定裁決書若ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日投票所ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス

異議ノ決定若ハ訴訟ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿無効トナリタルトキハ九月十五日ノ現在ニ依リ更ニ名簿ヲ調製スヘシ但シ前項名簿調製ノ期日マテニ選舉權ヲ失ヒタル者ハ名簿ニ登錄スル限ニ在ラス

第十四條 府縣會議員ノ選舉ハ郡市長及獨立選舉權ヲ有スル町長之ヲ管理ス

第二十一條 投票ヲ終リタルトキハ獨立選舉權ヲ有セサル町長及村長ハ其ノ指定シタル投票立會人ト共ニ直ニ投票函及投票錄ヲ選舉會場ニ送致スヘシ

第二十三條 選舉會ハ郡市役所及獨立選舉權ヲ有スル町役場又ハ郡市町長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ開クヘシ

前項選舉會ノ場所ハ郡市町長豫メ之ヲ告示スヘシ

第二十四條 郡長ハ各投票所ヨリ豫メ之ヲ告示スヘシ

市町長ハ選舉人中ヨリ選舉立會人二名乃至六名ヲ選任スヘシ
選舉立會人ハ名譽職トス

第二十五條 郡市長及獨立選舉權ヲ有スル町長ハ選舉長ト爲リ郡ニ於テハ投票函ノ總テ到達シタル翌日市町ニ於テハ投票ノ翌日選舉立會人立會人ト投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ若投票ト投票人トノ總數ニ差異ヲ生シタルトキハ其ノ由ヲ選舉録ニ記載スヘシ但投票合ニ依リ選舉會ハ郡ニ於テハ投票函到達ノ日市町ニ於テハ投票ノ日之ヲ開クコトヲ得

第三十四條 選舉人選舉若ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ府縣知事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ府縣知事ニ決定ニ付スヘシ
府縣知事ニ於テ選舉若ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第一項申立ノ有無ニ拘ラス第三十一條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ府縣知事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

本條府縣知事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事郡市長及獨立選舉權ヲ有スル町長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十八 衆議院議員選舉法中改正法律案(橫井甚四 第一讀會)

衆議院議員選舉法中改正法律案

第八十九條ノ二 選舉事務ニ關係アル官吏、吏員ニシテ選舉ニ關スル文書ヲ偽造又ハ變造シテ行使シタル者ハ四月以上四年以下ノ輕禁錮ニ處ス
第九十八條中「一月以上二年以下」ノ輕禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加スルヲ「一月以上二年以下」ノ輕禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處スニ改ム

第十九 郡市町村會議員ノ選舉ニ關スル法律案(續 第一讀會)

郡市町村會議員ノ選舉ニ關スル法律案

郡市町村會議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉法規定ノ罰則ヲ準用ス

第二十 渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正 第一讀會

渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正

第一條中「田畑」ノ下ニ「宅地山林原野沼池」ヲ加フ

第二十一 屠場法案(川島瀧藏君外一名提出) 第一讀會

屠場法案

第一條 本法ニ於テ屠場ト稱スルハ食用ニ供スル牛馬羊豚ヲ屠殺解體スル場所ヲ云フ

第二條 屠場外ニ於テハ政府ノ認可ヲ得シテ食用ニ供スル牛馬羊豚ヲ屠殺解體スルコトヲ得ス

第三條 屠場ハ政府ノ免許ヲ得テ之ヲ設立スヘキモノトス

第四條 屠場ハ公共ノ施設ニ限リ政府ノ免許ヲ得テ一地區内ノ專業トナスコトヲ得但シ其ノ地區ハ主務大臣之ヲ定ム

第五條 屠場ハ官ノ検査ヲ經サル牛馬羊豚ヲ屠殺シ又ハ斃牛馬ヲ解體スルコトヲ得ス
第六條 本法施行ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第七條 第二條、第五條ニ違背シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則
本法ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十二 獸畜市場法案(川島瀧藏君外一名提出) 第一讀會

獸畜市場法案

第一條 本法ニ於テ獸畜市場ト稱スルハ常ニ牛馬羊豚ヲ集莧シテ賣買取引ヲ爲ス場所ヲ云フ

第二條 獸畜市場外ニ於テハ政府ノ免許ヲ得ス牛馬羊豚ヲ集莧シテ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス

第三條 獸畜市場ハ政府ノ免許ヲ得テ之ヲ設立スヘキモノトス

第四條 獸畜市場ハ公共ノ施設ニ限リ政府ノ免許ヲ得テ一地區内ノ專業トナスコトヲ得但シ其ノ地區ハ主務大臣之ヲ定ム

第五條 本法施行ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 第二條ニ違背シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則
本法ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十三 傳染病豫防法中改正法律案(山根正次君 第一讀會)

傳染病豫防法中改正法律案

第一條第二項中「八」ヲ「九」ニ改ム

第一條第二項中「九」ヲ「十」ニ改ム

第一條第二項中「十」ヲ「十一」ニ改ム

第一條第二項中「十一」ヲ「十二」ニ改ム

第一條第二項中「十二」ヲ「十三」ニ改ム

第一條第二項中「十三」ヲ「十四」ニ改ム

第一條第二項中「十四」ヲ「十五」ニ改ム

第一條第二項中「十五」ヲ「十六」ニ改ム

同條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
同條第三項ノ檢査ヲ施行セサル場合ニ於テ船舶汽車中ニ傳染病患者若ハ病
毒感染ノ疑アル者アリタルキハ前二項ノ規定ヲ準用ス在監人出獄スル
ニ際シ傳染病ニ罹リタル者若ハ病毒感染ノ疑アル者アリタルキ亦同シ
第十九條第一號ヲ左ノ如ク改ム
一 健康診斷又ハ死體檢案ヲ行フコト
同條第二號中「又ハ」ヲ「若ハ」ニ改メ「遮斷」ノ下ニ「シ又ハ人民ヲ隔離」ヲ加
フ
同條第八號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ
九 「ベスト」豫防ニ對シテハ鼠族ノ驅除及之ニ關スル施設ヲ爲サシムル
コト

第十九條ヲ第十九條ノ一トシ次ニ左ノ一條ヲ加フ
第十九條ノ二 傳染病毒ニ汚染シタル建物ニシテ消毒方法ノ施行ヲ不適
當ト認ムルトキハ地方官ハ關係市町村ノ意見ヲ聽キ内務大臣ノ認可
ヲ得テ其ノ建物ニ對シ別段ノ處分ヲ行ヒ且其ノ處分ノ爲必要ナル土地
ヲ使用スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ損害ヲ受ケタル建物ノ所有者ニ手當金ヲ交付スヘ
シ
手當金ノ交付並手當金額ノ決定ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ
定ム

第二十一條第一項第六號中「第八條」ノ上ニ「第七條ニ依レル隔離」ヲ、「交
通遮斷」ノ下ニ「隔離」ヲ加フ
同條第一項第七號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ
八 第十七條ノ二ニ依レル水ノ供給ニ關スル諸費
九 第十九條ノ二ニ依リ交付スヘキ手當金
第二十二條第一項中第一號乃至第三號ヲ左ノ如ク改ム
一 第十八條ニ關スル諸費
二 手當金ヲ除ク外第十九條ノ二ニ關スル諸費
三 第十九條ノ一第二ニ依レル交通遮斷、隔離ニ關スル諸費、交通遮斷、
隔離ノ爲自活シ能ハサル者ノ生活費及隔離ニ關スル諸費
四 第十九條ノ一第九ニ關スル諸費
第二十六條第二項、第二十七條第二項中「國稅滯納處分」ヲ「國稅徵收」ニ改
ム

第二十八條ニ左ノ一項ヲ加フ
第二十九條ノ二ノ手當金ニ關シ不服アル者亦前項ニ同シ
第三十一條 第四條、第五條、第九條、第十條、第十二條ニ違背シタル者、交
通遮斷ヲ犯シタル者、當該吏員ノ尋問ニ應答セズ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シ
タル者、又ハ醫師ニ請託シテ第三條ノ届出ヲ爲サシメス若ハ其ノ届出ヲ
妨ケタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(寺 第一讀會
井純司君外三名提出)
裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案
明治二十三年法律第六十二號裁判所位置及管轄區域表中函館控訴院管轄陸
奥ノ國ヲ宮城控訴院ノ管轄ニ變更ス
附則
本法ハ明治三十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十八年三月三十一日以前ニ於テ青森地方裁判所ノ爲シタル裁判ニ對
スル上訴ハ函館控訴院之ヲ管轄ス

第二十五 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案 澤 第一讀會
田寧君提出

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案
裁判所位置及管轄區域表中靜岡地方裁判所管內藤枝區裁判所管轄遠江國榛
原郡ヲ同地方裁判所管內掛川區裁判所ノ管轄ニ變更ス
附則
本法ハ明治三十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本法施行前ニ於テ出訴シタル事件ハ受訴裁判所ノ管轄トス

○ 恆松隆慶君(百五十九番) 委員ノ數ニ付イテ申シマス、十六ト十七ハ、同一ノ委
員ニ付託スル事ニシテ、九名ヲ議長ヨリ指名セラレタイ、ツレカラ二十一ト二十二ハ、是モ
同一ノ委員ニ付託シテ、九名ヲ議長ヨリ指名セラレタイ、二十四ト二十五ハ、是モ亦同
一ノ委員ニ付託シテ、議長ヨリ九名ヲ指名セラレタイ、他ハ各案共ニ九名ノ委員ヲ議
長ガ指名アランコトヲ望ミマス
〔贊成々々ノ聲起ル〕

○ 議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ハ第十二ヨリ第十五ニ至ルマデハ、各、九名ノ
委員ニシテ、議長ノ指名ニシタイト云フコトデゴザイマスガ、御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○ 議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、其通決定致シマス、次ニ第十六第十七
ハ、同一ノ委員ニシテ議長指名ノ九名ノ委員ニ、付託シタイト云フコトデゴザイマスガ、御
異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○ 議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、其通決定致シマス、第十八ヨリ第二十マデ
ハ、各案共議長指名ノ九名ノ委員ニ付託シタイト云フコトデアリマスガ、御異議ハアリマ
セヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○ 議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、其通決定致シマス、第二十一ト第二十二
ハ、同一ノ委員ニシテ議長指名ノ九名ノ委員ニ、付託シタイト云フコトデアリマスガ、御異議
ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○ 議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、其通決定致シマス、第二十三ハ議長指名
ノ九名ノ委員ニ付託シタイト云フコトデアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○ 議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、其通決定致シマス、次ニ第二十四ト第二十五
ハ、同一ノ委員ニシテ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託シタイト云フ動議デアリマスガ、御異
議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○ 議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、其通決定致シマス
○ 恆松隆慶君(百五十九番) 後トノ日程ハ、定數ガ足ラナイカラアスカラ、今日ハ延
期ニナタカ宜カラウト思ヒマス

○ 議長(松田正久君) 第二十六ハ提出者ヨリ延期ヲ求メラレマシタガ、御異議ハアリ
マセヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○ 議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ其通決定ヲ致シマス、諸般ノ報告ヲ致シマス

〔書記朗讀〕

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
居留民團法案
議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
所得稅免除ニ關スル法律案
蠶絲業組合法案

提出者 大畑 純次君

提出者 上埜 安太郎君 恆松 隆慶君 奥野 市次郎君
古井 由之君 福島 宜三君 荻野 芳藏君
鈴木 久次郎君 西村 眞太郎君 原田 越城君

滿洲ニ於ケル我政府ノ軍票兌換銀券行使ニ關スル質問ニ對シ會稱大藏大臣ヨリ、
國有土地森林原野下戻ニ關スル質問ニ對シ清浦農商務大臣ヨリ左ノ答辯アリ、
衆議院議員武藤金吉君提出滿洲ニ於ケル我政府ノ軍票兌換銀券行使ニ關スル
質問ニ對シ別紙大藏大臣答辯書差進候也

明治三十八年二月十四日

内閣總理大臣伯耆桂太郎

衆議院議員武藤金吉君提出軍用手票行使ニ關スル質問ニ對スル答辯書
軍用手票ハ戰地ニ於テ經費仕拂上ノ便利ノ爲行使スル仕拂證據ニシテ政府ハ通
貨及圓銀ヲ普通ノ手續ニ依リテ橫濱正金銀行牛莊支店(金庫事務取扱)並ニ軍
金櫃部等ニ交付シ諸般ノ關係上必要ト認ムル程度ニ於テ其ノ交換ヲナサシメツ、ア
ルノミナラス尙其ノ爲替ノ便ヲ開ケリ其ノ流通ノ狀況ハ時ト處トニヨリテ多少ノ差異
アリト雖モ政府ハ大體上流通良好ニシテ充分ニ其ノ行使ノ目的ヲ達シ、アリト認ム

右及答辯候也
明治三十八年二月六日
大藏大臣男爵曾禰荒助
衆議院議員宮古啓三郎君提出國有土地森林原野下戻ニ關スル質問ニ對シ別紙
農商務大臣答辯書差進候也

明治三十八年二月十四日

内閣總理大臣伯耆桂太郎

衆議院議員宮古啓三郎君提出國有土地森林原野下戻ニ關スル質問ニ對スル
答辯書
政府ハ明治三十五年訓令第十二號ノ趣旨ヲ實行シタリ

(一) 政府ハ將來ニ於テモ尙ホ確實ニ之ヲ實行スヘシ
(二) 政府ハ此訓令ノ趣旨ヲ以テ國有土地森林原野下戻法ノ正當ナル解釋ト認ム
(三) 右及答辯候也
明治三十八年二月二日
農商務大臣男爵清浦奎吾

民事訴訟法中改正法律案委員

栗塚 省吾君 山崎 眞純君 遊田 研吉君
矢島 浦太郎君 横堀 三子君 入江 武一郎君
國井 庫君 富島 暢夫君 澤田 佐助君
國籍法中改正法律案委員

中西 六三郎君 竹内 美代吉君 牧野 元君
三浦 盛徳君 大淵 龍太郎君 蘆田 鹿之助君
神崎 東藏君 佐治 幸平君 花井 卓藏君

登録稅法中改正法律案委員

河原林 義雄君 横井 時雄君 岩元 信兵衛君
田中 藤次郎君 野木 善三郎君 須見 千次郎君
板倉 中君 松本 大吉君 萩野 左門君

家祿賞典祿處分法中改正法律案委員
村松 愛藏君 荻野 芳藏君 中村 雄藏君
藤井 牧太郎君 望月 邦基君 小林 四朗君
西村 眞太郎君 野尻 長夫君 柴仲 次君

府縣制中改正法律案外一件委員
林 小一郎君 植場 平君 渡邊 修君
小川 源一君 辻 寛君 尾形 兵太郎君
佐藤 庫喜君 國谷 亨君 嶺山 時善君

衆議院議員選舉法中改正法律案委員
瀧口 吉良君 横井 甚四郎君 根本 正君
阿部 德三郎君 荒川 五郎君 三輪 猶作君
郡市町村會議議員ノ選舉ニ關スル法律案

青柳 信五郎君 清水 松三郎君 東 一左右君
松井 源内君 山口 達太郎君 榎本 次郎右衛門君
富島 暢夫君 矢島 中君 栗原 宣太郎君
渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案委員

水暮 武太夫君 伊藤 傳右衛門君 神前 修三君
石塚 重平君 板倉 中君 野口 源一郎君
菅澤 重雄君 板倉 中君 持田 若佐君
屠場法案外一件委員

植木 元太郎君 大野 久次郎君 中西 光三郎君
渡邊 敬昌君 米田 武八郎君 川島 龍藏君
淺見 竹太郎君 關口 安太郎君 大細 久次郎君
傳染病豫防法中改正法律案委員

西村 專太郎君 鈴木 友治郎君 福島 美之助君
長崎 晴登君 山根 正次郎君 千葉 禎太郎君
愛澤 寧堅君 澤田 耕治郎君 淺野 順平君
裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案外一件委員

澤田 寧君 森 肇君 天野 藤三君
山田 省三郎君 寺井 純司君 藤澤 幾之輔君
角田 眞平君 米田 實君 宮部 襄君
○議長(松田正久君) 次ノ會議ハ、來ル十六日ニ開キマスガ、日程ハ追テ公報ヲ以
テ御通知ニ及ヒマス、本日ハ是ニテ散會ヲ致シマス
午後三時四十八分散會

衆議院議事速記錄第十五號正誤

頁 段 行 誤 同 頁 段 行 誤 同
二二三 同 二四 介藻 國事ノ 採藻
同 二三 同 二四 介藻 國事ノ 採藻